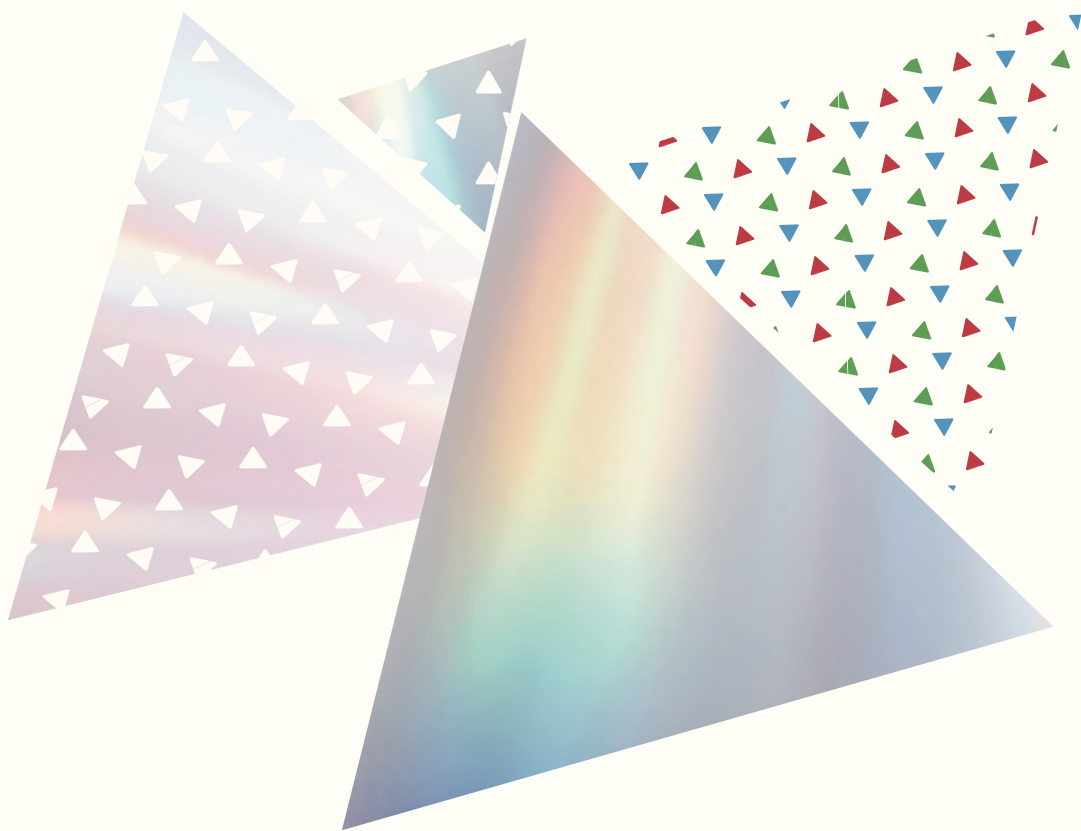


2024年度 入学生版 教育課程



目次

教育課程等		教育職員免許状受領資格取得関係科目表	
教育課程	2	教科及び教科の指導法に関する科目	
卒業要件	2	国際学部	40
履修基準	3	情報科学部	
卒業論文等登録条件	4	情報工学科	41
イノベーション人材育成プログラム(情報科学部)	5	知能工学科	43
早期卒業制度(情報科学部)	5	システム工学科	45
単位互換制度	5	医用情報科学科	47
地域志向特定プログラム	6	芸術学部	
		美術学科 日本画専攻	48
		油絵専攻	49
		彫刻専攻	50
		デザイン工芸学科	51
		教育の基礎的理解に関する科目等	53
		大学が独自に設定する科目	54
		教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	54
		学芸員資格取得関係科目表	55
教育課程表		資格	
全学共通系科目	7	教員を目指す人	56
外国語系科目	9	学芸員を目指す人	57
資格取得関係科目	10	公務員を目指す人	57
専門教育科目			
【国際学部】			
専門基礎科目・領域認定制度	12		
専門科目	13		
【情報科学部】			
専門基礎科目(4学科共通)	21		
専門科目			
情報工学科	22		
知能工学科	25		
システム工学科	28		
医用情報科学科	31		
【芸術学部】			
専門基礎科目(2学科共通)	34		
専門科目			
美術学科 日本画専攻	36		
油絵専攻	37		
彫刻専攻	38		
デザイン工芸学科	39		

教育課程等

教育課程

本学の教育課程は、全学共通系科目、外国語系科目及び専門教育科目で構成されています。授業科目の種類及び単位数については教育課程表（7～39ページ）を参照してください。

1 全学共通系科目

全学共通系科目は総合共通科目（広島・地域志向科目、平和科目、共通科目A（人間と社会）、共通科目B（数理と自然）、共通科目C（芸術）、初年次演習科目、キャリア形成・実践科目）、一般情報処理科目及び保健体育科目で編成されています。

(1) 広島・地域志向科目

広島と周辺圏域の歴史や文化・産業などを学ぶとともに、地域課題へのアプローチを汎用的に学ぶ授業科目

(2) 平和科目

被爆体験を若い世代に継承するとともに、平和と人権について多面的に学ぶことを目的とした授業科目

(3) 共通科目A（人間と社会）

人間と文化、社会のかかわりを中心とする授業科目

(4) 共通科目B（数理と自然）

人間と科学のかかわりを中心とする授業科目

(5) 共通科目C（芸術）

創造と表現を中心とする授業科目

(6) 初年次演習科目

大学教育において必要となる汎用的技能の基礎を学ぶ授業科目

(7) キャリア形成・実践科目

自らの将来（就職、進学等）について考えるための授業科目

2 外国語系科目

外国語系科目は、英語とその他の外国語で編成されています。

3 専門教育科目

各学部ごとに「専門基礎科目」と「専門科目」で編成されています。

4 資格取得関係科目

教員免許状の取得のための「教育職員免許状受領資格取得関係科目」と学芸員資格取得のための「学芸員資格取得関係科目」を設置しています（40～55ページ参照）。各学部で取得できる資格等については56～57ページを参照してください。

卒業要件

卒業するためには、4年以上在学し、次の表に定める単位を修得しなければなりません。

この要件は、卒業するまで有効です。必ず自身の入学年度の要件を確認してください。

区 分		国 際 学 部	情 報 科 学 部				芸 術 学 部	
			情 報 工 学 科	知 能 工 学 科	シ ス テ ム 工 学 科	医 用 情 報 科 学 科	美 術 学 科	デ ザ イ ン 工 芸 学 科
全学共通系科目	広島・地域志向科目	2単位以上	2単位以上				2単位以上	
	平和科目	2単位以上	2単位以上				2単位以上	
	共通科目A(人間と社会)	4単位以上	4単位以上				4単位以上	
	共通科目B(数理と自然)	2単位以上	4単位以上				2単位以上	
	共通科目C(芸術)	2単位以上	2単位以上				2単位以上	
	初年次演習科目	1単位	1単位				1単位	
	キャリア形成・実践科目	1単位以上	1単位以上				1単位以上	
	(A) 総合共通科目小計	14単位以上	16単位以上				18単位以上	
(A)	一般情報処理科目	2単位	2単位				2単位	
	保健体育科目	2単位	2単位				2単位	
外国語系科目(B)		12単位以上	8単位以上				6単位以上	
全学共通系科目等計(A+B)		30単位以上	33単位				30単位	
専門教育科目	専門基礎科目	9単位以上	95単位				22単位	
	専門科目	84単位以上	95単位				76単位	
	計	93単位以上	95単位				98単位	
卒業必要単位数		128単位	128単位				128単位	

履修基準

卒業に必要な単位数は、前ページの表のとおり各学部によって異なります。

各学部の履修基準は次のとおりとなっていますので、しっかりと確認して間違いのないよう注意してください。

国際学部

1 総合共通科目

前ページの表の基準により履修してください。

2 一般情報処理科目

「情報活用基礎」(2単位)を履修してください。

3 保健体育科目

「体育実技Ⅰ・体育実技Ⅱ」(各1単位、計2単位)又は「健康科学」(2単位)のいずれかを選択して履修してください。両方を履修しても構いませんが、卒業単位としては2単位しか算入されません。

4 外国語系科目

以下の基準に従い、必修8単位、選択4単位の計12単位以上履修してください。

必修 (8単位)	英語科目	「CALL英語集中Ⅰ」、「CALL英語集中Ⅱ」、「英語応用演習Ⅰ」、「英語応用演習Ⅱ」(各1単位)をすべて取得	4単位
	第二外国語科目	アラビア語、イタリア語、スペイン語、中国語、ドイツ語、ハンブルグ、フランス語、ロシア語の8言語の中から同一言語をひとつ選択し、ⅠからⅣ(各2単位)のうち2科目の単位を取得(日本語の授業は留学生のみ対象)	4単位
いずれか 選択 (4単位)	選択1: 英語科目	「CALL英語集中Ⅲ」、「CALL英語集中Ⅳ」、「英語応用演習Ⅲ」、「英語応用演習Ⅳ」(各1単位)をすべて単位取得	4単位
	選択2: 第二外国語科目	アラビア語、イタリア語、スペイン語、中国語、ドイツ語、ハンブルグ、フランス語、ロシア語の8言語の中から必修で取得した第二外国語科目と同一言語を選択し、ⅠからⅣ(各2単位)まですべて単位取得(日本語の授業は留学生のみ対象)	4単位

【参考：履修パターン】

基準に当てはめると履修パターンは、英語を主として履修するパターンと、同一言語の第二外国語を主として履修するパターンのいずれか2つです。なお、履修パターンは、最低限の要件を満たすもので、いずれもこの履修パターンを踏まえた上でのさらなる外国語の積極的な履修を妨げるものではありません。

<英語を主とする履修パターン>青：選択必修

年次	学期	履修する授業科目 (カッコ内は単位数)			合計単位
1年次	前期	CALL 英語集中Ⅰ (1)	英語応用 演習Ⅰ (1)	第二 外国語Ⅰ (2)	計12単位 以上
	後期	CALL 英語集中Ⅱ (1)	英語応用 演習Ⅱ (1)	第二 外国語Ⅱ (2)	
2年次	前期	CALL 英語集中Ⅲ (1)	英語応用 演習Ⅲ (1)		
	後期	CALL 英語集中Ⅳ (1)	英語応用 演習Ⅳ (1)		

<同一の第二外国語を主とする履修パターン>青：選択必修

年次	学期	履修する授業科目 (カッコ内は単位数)			合計単位
1年次	前期	CALL 英語集中Ⅰ (1)	英語応用 演習Ⅰ (1)	第二 外国語Ⅰ (2)	計12単位 以上
	後期	CALL 英語集中Ⅱ (1)	英語応用 演習Ⅱ (1)	第二 外国語Ⅱ (2)	
2年次	前期			第二 外国語Ⅲ (2)	
	後期			第二 外国語Ⅳ (2)	

※異なる言語の組み合わせで第二外国語をⅠからⅣまで12単位取得しても、同一言語でなければ基準を満たしませんので注意してください。

情報科学部

- 1 総合共通科目
前ページの表の基準により履修してください。
- 2 一般情報処理科目
「情報活用基礎」(2単位)を履修してください。
- 3 保健体育科目
「体育実技Ⅰ・体育実技Ⅱ」(各1単位、計2単位)又は「健康科学」(2単位)のいずれかを選択して履修してください。両方を履修しても構いませんが、卒業単位としては2単位しか算入されません。
- 4 外国語系科目
「英語応用演習Ⅰ、英語応用演習Ⅱ、英語応用演習Ⅲ、英語応用演習Ⅳ、eラーニング英語Ⅰ、eラーニング英語Ⅱ、eラーニング英語Ⅲ、eラーニング英語Ⅳ」(各1単位)の計8単位が必修となります。
- 5 専門教育科目
情報科学部の専門教育科目は全学科対象の「専門基礎科目」と各学科ごとの「専門科目」により構成されています。情報科学部では、2年前期から学科に配属されますが、2年前期までは主に「専門基礎科目」を履修し、2年後期から各学科ごとの「専門科目」を履修することになります。各学科における専門教育科目の履修基準は以下のとおりです。
 - (1) 情報工学科
必修45単位を含め95単位
 - (2) 知能工学科
必修48単位を含め95単位
 - (3) システム工学科
必修45単位を含め95単位
 - (4) 医用情報科学科
必修45単位を含め95単位
- 6 学科配属について
情報科学部の学生は、1年後期終了時に、2年次進級が認められて(原則として前期を1期及び後期を1期、各期を途中休学することなく、かつ卒業要件となる128単位のうち、20単位以上修得している。)いれば、本人の希望と成績に基づき、「情報工学科」「知能工学科」「システム工学科」「医用情報科学科」のいずれかの学科に配属されます。

芸術学部

- 1 総合共通科目
前ページの表の基準により履修してください。
- 2 一般情報処理科目
「情報活用基礎」(2単位)を履修してください。
- 3 保健体育科目
「体育実技Ⅰ・体育実技Ⅱ」(各1単位、計2単位)又は「健康科学」(2単位)のいずれかを選択して履修してください。両方を履修しても構いませんが、卒業単位としては2単位しか算入されません。
- 4 外国語系科目
「CALL英語集中Ⅰ、CALL英語集中Ⅱ、英語応用演習Ⅰ、英語応用演習Ⅱ」(各1単位)の計4単位が必修となります。また、このほか英語科目「英語応用演習Ⅲ、英語応用演習Ⅳ、CALL英語集中Ⅲ、CALL英語集中Ⅳ」及び英語以外の外国語系科目の中から2単位以上を履修してください。
- 5 専門教育科目
芸術学部の専門教育科目は「専門基礎科目」と「専門科目」により構成されています。その履修基準は専門基礎科目22単位、専門科目76単位(必修)です。

※ 各学部においては、学期初めのガイダンス等で細かな履修指導を行っています。ガイダンス等には必ず出席してください。

卒業論文等登録条件

4年次に進級し、卒業論文、卒業研究、卒業制作の履修登録を行うためには、各所属する学部・学科において設けている条件を満たさなければなりません。各学部とも卒業論文等は必修科目であり、履修登録ができないことは卒業延期となることを意味します。

4年生になって後悔しても始まりません。そんなことにならないよう、今後、計画的に単位を修得するようにしてください。

学部	卒業論文等登録条件
国際学部	卒業の要件となる128単位のうち、 <u>90単位以上</u> を修得
情報科学部(全学科)※	3年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、3年次までの必修の実験、演習科目(専門教育科目に限る)、eラーニング英語Ⅲおよびeラーニング英語Ⅳの全単位を含む <u>110単位以上</u> を修得
芸術学部(全学科)	卒業の要件となる128単位のうち、 <u>90単位以上</u> を修得

(※) 情報科学部においては、4年次進級条件となります。この条件を満たさないと、卒業研究以外の4年次に開設されている他の授業科目も履修できません。詳しくは学期初めの学部ガイダンス等において説明します。

イノベーション人材育成プログラム (情報科学部)

情報科学部では、ICT活用に不可欠なプログラミングや情報科学の基礎となる数学において秀でた能力を、学習意欲と共にさらに伸ばす「イノベーション人材育成プログラム」により、社会にイノベーションをもたらし得る人材を育成します。

本プログラムでは、標準で開講されている科目群に加え、実践的な情報技術のプロフェッショナルを育成する「革新的ICT実践特別コース」、科学的探究能力をもつIT技術者を育成する「革新的情報科学特別コース」、および両者の共通科目群の科目を履修できます。いずれの科目群でも創造力を養うことができます。総合型選抜推薦入試による入学者は優先的に履修できますが、情報科学部に入学したすべての学生が履修にチャレンジできます。

本プログラムは大学院との一貫カリキュラムを想定しており、所定の成績でプログラムを修了した学生は、通常4年次で履修する卒業研究を飛ばして、早期に大学院に進学し先端的な研究を開始することができます。

本プログラムを修了することで、ICTに必要な基本知識や動作原理を身につけるのみならず、社会の課題に目を向け、創造的な解決策に挑戦するマインドが身につきます。社会の変化とニーズに対応できる実践的なICT人材として活躍できます。

早期卒業制度 (情報科学部)

情報科学部では、3年以上在学し、学部が定める卒業単位を優秀な成績で修得し、かつ、学生本人が希望した場合には、4年未満の在学で卒業できる「早期卒業制度」が導入されています。

早期卒業が認められる要件は以下のとおりです。

- ◆ 学生本人が早期卒業を希望していること。
- ◆ 所属する学科の定める卒業要件として必要な単位数を修得していること。
- ◆ 所属する学科における成績順位が上位で、所属学科が成績優秀と認めること。

早期卒業するためには、早期卒業の適格認定を受けたうえで、4年間で修得する単位数を3年もしくは3年半で修得しなくてはなりません。

早期卒業を目指す優秀な成績と認められた学生（早期卒業適格認定者）は、半期で登録できる履修単位数の上限を超えて履修を行い、上位の学年に開設された授業科目の単位を修得することができます。履修単位数の上限を解除できる要件は別に定められており、その申請手続きは1年次の終わりから行うことができます。

早期卒業制度についての詳細は、入学時の学部ガイダンス等で説明します。

単位互換制度

単位互換とは、自分の所属大学以外の大学が提供する授業科目を受講して取得した単位を、所属大学の単位として認定する仕組みです。単位互換制度により取得した単位のうち、卒業要件として認められる単位の上限は60単位です。

- ◆ 協定を結ぶ機関との単位互換について

教育ネットワーク中国

本学では他大学との連携や、教育内容の充実を図る目的で一般社団法人「教育ネットワーク中国」が実施する単位互換制度に加入しています。広島県内の大学を中心に23の大学等が参加しており、各大学が提供する科目を単位互換科目として受講することができます。取得した単位は一部を除き、原則自由科目として認定されますが、学部によって科目の取扱いが異なるので、Webで公開される募集要項等を確認するようにしましょう。

(一社)教育ネットワーク中国 <https://www.enica.jp/>

海外学術協定校への派遣留学

本学では海外の大学と協定・覚書を締結し、学生の交換留学を推進しています。派遣期間中に取得した単位は、学部での審査を経て、本学の単位に認定することができます。認定を希望する場合は、教務グループにご相談ください。

<手続きに必要な書類>

- ・単位認定願 (教務グループで配布)
- ・成績証明書 (原本)
- ・認定を希望する科目のシラバス
- ・認定を希望する科目の学修時間や単位数が分かるもの
- ・成績評価基準が分かるもの

※いずれも外国語で書かれたものであれば、日本語訳を添付すること

- ◆ その他の単位互換

既修得単位等認定

本学に入学する前に大学または短期大学で取得した単位は、学部での審査を経て、全学共通系科目及び外国語系科目として認定することができます。入学した日から1か月以内に申請が必要です。認定を希望する場合は、教務グループにお早めにご相談ください。

<手続きに必要な書類>

- ・既修得単位等認定願 (教務グループで配布)
- ・成績証明書 (原本)
- ・認定を希望する科目のシラバス
- ・認定を希望する科目の学修時間や単位数が分かるもの
- ・成績評価基準が分かるもの

その他

留学による単位認定は、原則として、派遣留学が対象ですが、協定校以外の大学で単位を取得する場合でも認定できることがあります。必ず留学前に教務グループにご相談ください。

地域志向特定プログラム

「地域志向特定プログラム」は、地域に関して様々な視点から学びを深め、地域人材としての基礎をつくる「地域志向科目」で構成された教育プログラムです。

＜修得を目指す能力＞

- ① 地域の特性・課題を理解する能力
- ② 課題解決の方法を総合的視野から企画する能力
- ③ 自治体・企業・NPOなどとのネットワークを形成・調整する能力
- ④ ネットワークの中で自らの専門性を効果的に発揮する能力

下記の要件を満たす単位取得を行った学生は、成績証明書に「地域志向特定プログラム修了」と印字され、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材の育成を目指す教育プログラムの所定の単位を修得したことを認定する」と記載されます。

■地域志向特定プログラムの修得要件■

下表の地域志向特定プログラム科目を、次のAからCを含めて8単位以上取得すること

- A 「広島・地域志向科目」群から4単位以上
- B 「地域課題演習」又は「地域実践演習」から1単位以上
- C 学部専門教育科目において別途定める「地域志向科目」群から2単位以上

さらに地域貢献に関するテーマで卒業論文・研究・制作の単位を取得した学生には、「ひろしま地域リーダー」の称号を授与します。

【地域志向特定プログラム科目】 ※教育課程表(7～39ページ)の備考欄に(地)マークのある科目

科目区分		地域志向特定プログラムの区分	授業科目名 (単位数)	開設年次及び学期
全学共通系科目	広島・地域志向科目	A	広島の観光学(2)、ひろしま論(2)、地域再生論入門(2)、NPO論(2)	1・2年・前期
			広島の産業と技術(2)	1・2年・後期
		B	地域課題演習(1)	1・2年次
国際学部 専門教育科目	公共政策・NPOプログラム	C	非営利組織論Ⅰ(2)	2年・前期
			非営利組織論Ⅱ(2)、地域再生論(2)	2年・後期
			交通論(2)	3年・前期
	多文化共生プログラム	C	フィールドワーク論(2)	2年・前期
			国際ビジネスプログラム	経営史(2)
	演習	B	専門演習Ⅰ(1)(地域実践演習)	3年・前期
専門演習Ⅱ(1)(地域実践演習)			3年・後期	
情報科学部 専門教育科目	専門科目 (学部共通)	C	観光情報学(2)	2年・前期
			システム開発実践(2)	3年次
芸術学部 専門教育科目	専門基礎科目	C	課題解決型演習(1)(地域実践演習)	2年次
			アートマネジメント概論(2)	2年・後期
			造形応用研究Ⅰ(2)	1-4年次
		造形応用研究Ⅱ(2)	2-4年次	
B	地域実践演習(1)	3年次		

【単位互換制度の活用について】

プログラム区分Aの修得要件については、教育ネットワーク中国の単位互換制度を活用し、他大学で開講される「単位互換科目」を履修して満たすことも可能です。

詳しくは教務・学部運営室教務グループへお問い合わせください。

教育課程表

教育課程は入学年度ごとに定められており、卒業要件や履修条件は原則として卒業するまで変わることはありません。ただし、教育課程表は改正により変更されることがあります。変更となった授業科目の取扱いや新規授業科目の情報などは読替表※として毎年度Webで公開されます。必ず確認して適切に履修しましょう。

※特に授業科目名が変更になる場合に新しい授業科目を履修することで、変更前の科目を履修したことにする措置を、科目の読替（よみかえ）ということから、授業科目の変更一覧は読替表と呼ばれます。

全学共通系科目

総合共通科目

注1

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
広島・地域志向科目	広島の観光学		2		1・2年・前期	全学部	地
	ひろしま論		2		1・2年・前期	全学部	地
	広島産業と技術		2		1・2年・後期	全学部	地
	地域再生論入門		2		1・2年・前期	全学部	地
	NPO論		2		1・2年・前期	全学部	地
	地域課題演習		1		1・2年次	全学部	地
平和科目	平和と人権A(ヒロシマと国際平和)		2		1・2年・前期	全学部	
	平和と人権B(現代世界と人権)		2		1・2年・後期	全学部	
	広島からの平和学：実践の方法		2		1・2年・前期	全学部	
	国際化時代の平和		2		1・2年・後期	全学部	
	「ヒロシマ」を考える		2		1・2年・後期	全学部	
共通科目A (人間と社会)	哲学		2		1・2年・後期	全学部	
	世界の宗教		2		1・2年・前期	全学部	
	心理学		2		1・2年・後期	全学部	
	歴史学		2		1・2年・前期	全学部	
	現代史A		2		1・2年・前期	全学部	
	現代史B		2		1・2年・後期	全学部	
	文学から学ぶ世界		2		1・2年・後期	全学部	
	法学(日本国憲法)		2		1・2年・前後期	全学部	注2
	政治学		2		1・2年・後期	全学部	
	経済学		2		1・2年・前期	全学部	
	社会学		2		1・2年・前期	全学部	
	文化人類学		2		1・2年・後期	全学部	
	自然人類学		2		1・2年・前期	全学部	
	経営学		2		1・2年・後期	全学部	
	心の健康・身体の健康		2		1・2年・前期	全学部	
	メディアと社会		2		1・2年・後期	全学部	
	自己の認識を深める		2		1・2年・前期	全学部	
人間関係とコミュニケーション		2		1・2年・後期	全学部		

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
共通科目B (数理と自然)	数学概論		2		1・2年・前期	国際・芸術	
	物理学概論		2		1・2年・前期	国際・芸術	
	基礎物理学		2		1・2年・前期	全学部	注3
	化学概論		2		1・2年・後期	国際・芸術	
	基礎化学		2		1・2年・前期	全学部	注3
	生物学概論		2		1・2年・前期	国際・芸術	
	基礎生物学		2		1・2年・後期	全学部	注3
	情報科学概論		2		1・2年・後期	国際・芸術	
	物理・化学実験		2		1・2年・後期	全学部	注3
	地球環境論		2		1・2年・前期	全学部	
	情報社会論		2		1・2年・後期	全学部	
	データサイエンス		2		1・2年・後期	全学部	
共通科目C (芸術)	デッサン概論		2		1・2年・前期	国際・情報	
	油絵入門		2		1・2年・第3ターム(後期)	国際・情報	
	日本画入門		2		1・2年・第3ターム(後期)	国際・情報	
	立体造形概論		2		1・2年・後期	国際・情報	
	プレゼンテーション概論		2		1・2年・前期	全学部	
	デザイン工芸概論		2		1・2年・後期	全学部	
	コンピュータ・アート		2		2年・後期	全学部	注4
	創作と人間		2		1・2年・前期	全学部	
初年次演習科目	3学部合同基礎演習	1			1年・前期	全学部	
キャリア形成・ 実践科目	キャリアデザインⅰ		1		1・2年・第1ターム(前期)	全学部	
	キャリアデザインⅱ		1		1・2年・第4ターム(後期)	全学部	
	キャリアサポートベーシックA		1		2・3年・前期	全学部	
	キャリアサポートベーシックB		1		2・3年・後期	全学部	
	仕事体験演習		1		1・2年・通年	全学部	
	国際交流演習Ⅰ		1		1～4年・通年	全学部	
	国際交流演習Ⅱ		1		1～4年・通年	全学部	
	国際交流演習Ⅲ		1		1～4年・通年	全学部	
	国際交流演習Ⅳ		1		1～4年・通年	全学部	

一般情報処理科目

一般情報処理科目	情報活用基礎	2			1年・前期	全学部	注5
----------	--------	---	--	--	-------	-----	----

保健体育科目

保健体育科目	健康科学		2		1年・前期	全学部	
	体育実技Ⅰ		1		1年・前期	全学部	注6
	体育実技Ⅱ		1		1年・後期	全学部	注6

注1 履修時期は1年次でも2年次でもよいので、専門教育科目とのバランスを考えながら履修時期を決めてください。ただし、3年次、4年次においても下年次履修は可能です。

注2 「法学（日本国憲法）」は、前期、後期どちらにも開講しますが、前期は国際学部生、後期は情報科学部生及び芸術学部生を対象とします。

注3 対象学部は「全学部」としていますが、主として情報科学部の学生向けの講義内容となっています。

注4 対象学部は「全学部」としていますが、主として国際学部及び芸術学部の学生向けの講義内容となっています。

注5 情報科学部は第1ターム（前期）に行います。

注6 「体育実技Ⅰ」の種目は初回授業で、「体育実技Ⅱ」の種目は「体育実技Ⅰ」の最終授業で、希望調査を行い決定します。

再履修を希望する場合は、担当教員に相談してください。

外国語系科目

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
英 語 科 目	CALL英語集中Ⅰ	1			1年・前期	国際・芸術	
	CALL英語集中Ⅱ	1			1年・後期	国際・芸術	
	CALL英語集中Ⅲ		1		2年・前期	国際・芸術	
	CALL英語集中Ⅳ		1		2年・後期	国際・芸術	
	eラーニング英語Ⅰ	1			1年・前期	情報	
	eラーニング英語Ⅱ	1			1年・後期	情報	
	eラーニング英語Ⅲ	1			2年・前期	情報	
	eラーニング英語Ⅳ	1			2年・後期	情報	
	英語応用演習Ⅰ	1			1年・前期	全学部	
	英語応用演習Ⅱ	1			1年・後期	全学部	
	英語応用演習Ⅲ		1		2年・前後期	国際	注7
	英語応用演習Ⅳ		1		2年・前後期	国際	注7
	英語応用演習Ⅲ	1			2年・前期	情報	
	英語応用演習Ⅳ	1			2年・後期	情報	
	英語応用演習Ⅲ		1		2年・前期	芸術	
	英語応用演習Ⅳ		1		2年・後期	芸術	
	英 語 以 外 の 外 国 語 系 科 目	ドイツ語Ⅰ		2		1年・前期	全学部
ドイツ語Ⅱ			2		1年・後期	全学部	
ドイツ語Ⅲ			2		1・2年・前期	全学部	注8
ドイツ語Ⅳ			2		1・2年・後期	全学部	注8
フランス語Ⅰ			2		1年・前期	全学部	
フランス語Ⅱ			2		1年・後期	全学部	
フランス語Ⅲ			2		1・2年・前期	全学部	注8
フランス語Ⅳ			2		1・2年・後期	全学部	注8
中国語Ⅰ			2		1年・前期	全学部	
中国語Ⅱ			2		1年・後期	全学部	
中国語Ⅲ			2		1・2年・前期	全学部	注8
中国語Ⅳ			2		1・2年・後期	全学部	注8
ハンブルⅠ			2		1年・前期	全学部	
ハンブルⅡ			2		1年・後期	全学部	
ハンブルⅢ			2		1・2年・前期	全学部	注8
ハンブルⅣ			2		1・2年・後期	全学部	注8

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
英語以外の 外国語系科目	アラビア語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	アラビア語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	アラビア語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注8
	アラビア語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注8
	ロシア語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	ロシア語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	ロシア語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注8
	ロシア語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注8
	イタリア語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	イタリア語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	イタリア語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注8
	イタリア語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注8
	スペイン語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	
	スペイン語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	
	スペイン語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注8
	スペイン語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注8
	日本語Ⅰ		2		1年・前期	全学部	注9
	日本語Ⅱ		2		1年・後期	全学部	注9
	日本語Ⅲ		2		1・2年・前期	全学部	注8注9
	日本語Ⅳ		2		1・2年・後期	全学部	注8注9

注7 前期・後期とも開講するので、国際学部の学生は別途掲示するクラス分け表により前期又は後期のいずれかを履修すること。

注8 1年生が履修する場合は、科目担当教員の承認が必要です。

注9 外国人留学生対象の科目であり、日本人学生は履修できません。

資格取得関係科目

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
教育職員免許状 受領資格取得 関係科目	教師論			2	1年・後期	全学部	
	教育原理			2	2年・前期	全学部	
	教育心理学			2	2年・後期	全学部	
	教育課程論			1	2年・第3ターム(後期)	全学部	
	教育経営学			2	3年・前期	全学部	
	特別支援教育論			1	3年・第1ターム(前期)	全学部	
	生徒・進路指導論			2	2年・前期	全学部	
	道徳教育論			2	2年・後期	全学部	
	教育方法・技術論			1	2年・第3ターム(後期)	全学部	
	教育相談論			2	2年・前期	全学部	

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	対象 学部	備考
		必修	選択	自由			
教育職員免許状 受領資格取得 関係科目	情報通信技術を活用した教育の理論			1	2年・第4ターム(後期)	全学部	
	総合的な学習の時間論			1	2年・第4ターム(後期)	全学部	
	特別活動論			1	3年・第2ターム(前期)	全学部	
	教科教育法(英語) A I			2	2年・前期	国際	
	教科教育法(英語) A II			2	2年・後期	国際	
	教科教育法(英語) B I			2	3年・前期	国際	
	教科教育法(英語) B II			2	3年・後期	国際	
	教科教育法(数学) I			2	3年・前期	情報	
	教科教育法(数学) II			2	3年・後期	情報	
	教科教育法(情報) I			2	3年・前期	情報	
	教科教育法(情報) II			2	3年・後期	情報	
	教科教育法(美術) A I			2	2年・前期	芸術	
	教科教育法(美術) A II			2	2年・後期	芸術	
	教科教育法(美術) B I			2	3年・前期	芸術	
	教科教育法(美術) B II			2	3年・後期	芸術	
	教科教育法(工芸) I			2	3年・前期	芸術	
	教科教育法(工芸) II			2	3年・後期	芸術	
	教育実習 I			3	4年次	全学部	
	教育実習 II			2	4年次	全学部	
	教職実践演習(中等) A			2	4年・後期	国際	
	教職実践演習(中等) B			2	4年・後期	情報	
教職実践演習(中等) C			2	4年・後期	芸術		
学校インターンシップ			2	2・3・4年次	国際・芸術		
教職特講			2	3年・後期	全学部		
学芸員資格取得 関係科目	生涯学習概論			2	1年・後期	芸術	注10
	博物館教育論			2	2年・前期	芸術	注11
	博物館資料論			2	2年・後期	芸術	注11
	博物館概論			2	3年・前期	芸術	注11
	博物館経営論			2	3年・後期	芸術	注11
	博物館資料保存論			2	3年・後期	芸術	注11
	博物館展示論			2	3年・後期	芸術	注11
	博物館情報・メディア論			2	3年・後期	芸術	注11
	博物館実習			3	4年次	芸術	注11

注10 国際学部は学部専門科目(公共政策・NPOプログラム)の選択科目として履修すること。

注11 国際学部の学生が履修するためには、「他学部履修」の手続きを行う必要があります。

専門教育科目

国際学部 国際学科

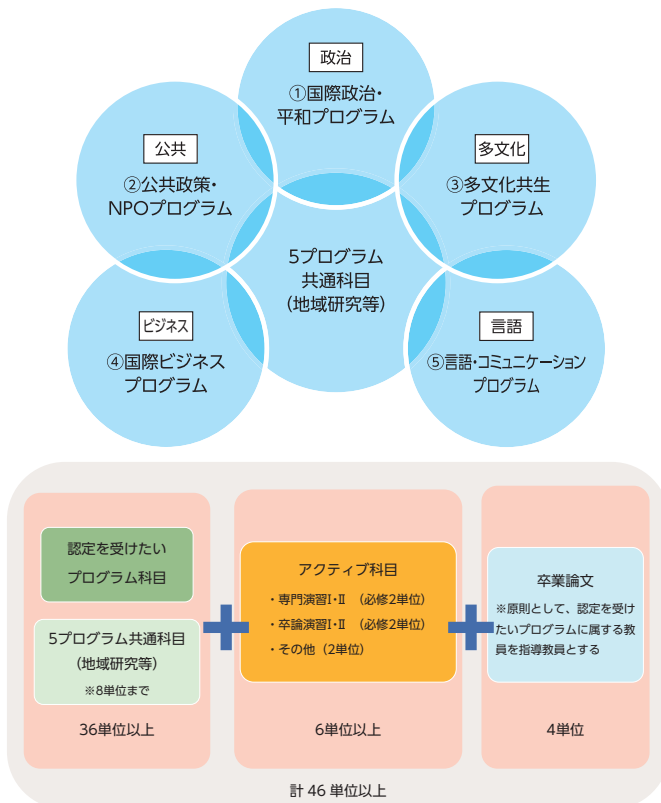
科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	ベーシック入門科目	国際研究入門	2		1年・前期	
		データ分析入門		2	1年・後期	
	ベーシック演習科目	基礎演習	1		1年・後期	
		発展演習Ⅰ	1		2年・前期	
		発展演習Ⅱ	1		2年・後期	
	英語スキルアップ科目	英語読解法Ⅰ		2	2年・前期	
		英語読解法Ⅱ		2	2年・後期	
		英語討論技法Ⅰ		2	2年・前期	
		英語討論技法Ⅱ		2	2年・後期	
		英文作法Ⅰ		2	2年・前期	
	英文作法Ⅱ		2	2年・後期		

【専門科目の「領域」認定】

国際学部では、13ページから19ページまでの専門科目に5つのプログラムを設け、ひとつのプログラム科目（2つ以上のプログラム科目に共通する授業科目を含む*）と5プログラム共通科目（地域研究等）から36単位以上を履修し、かつ、アクティブ科目から6単位以上と卒業論文4単位の計46単位以上を履修して、当該プログラムの「領域」認定を受けることが卒業要件です。

ただし、領域認定に加算できる5プログラム共通科目（地域研究等）の単位数は8単位以内です。

※ 授業科目によっては、2つ以上のプログラムに共通する授業科目もあり、「備考欄」に下記の略号を付記しています。



科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	国際関係論		2		1年・前期	
		国際関係史入門		2		1年・後期	
		平和研究入門		2		1年・後期	
		国際安全保障論		2		2年・前期	
		比較政治学		2		2年・前期	
		国際協力論Ⅰ		2		2年・前期	公共
		国際協力論Ⅱ		2		2年・後期	公共
		国際社会論Ⅰ		2		2年・前期	多文化
		国際社会論Ⅱ		2		2年・後期	多文化
		平和研究Ⅰ		2		2年・前期	
		平和研究Ⅱ		2		2年・後期	
		国際関係史（中国）Ⅰ		2		2年・前期	
		国際関係史（中国）Ⅱ		2		2年・後期	
		国際法		2		2年・後期	
		国際政治理論		2		2年・後期	
		国際政治学		2		2年・後期	
		Learning IILs		2		2年・前期	
		Contemporary Political Issues		2		2年・後期	
		History of Japanese Politics and Diplomacy		2		2年・後期	
		Peace and Conflict Studies		2		2年・前期	
		国際人権法		2		3年・前期	
		民族国家論Ⅰ		2		3年・後期	
		民族国家論Ⅱ		2		3年・後期	
		開発政治論Ⅰ		2		3年・前期	公共
		開発政治論Ⅱ		2		3年・後期	公共
		紛争解決論Ⅰ		2		3年・前期	
		紛争解決論Ⅱ		2		3年・後期	
		国際機構論Ⅰ		2		3年・前期	
		国際機構論Ⅱ		2		3年・後期	
		国際関係史（日本）Ⅰ		2		3年・前期	
		国際関係史（日本）Ⅱ		2		3年・後期	
		国際関係史（朝鮮半島）Ⅰ		2		3年・前期	
		国際関係史（朝鮮半島）Ⅱ		2		3年・後期	
国際関係史（アメリカ）Ⅰ		2		3年・前期			
国際関係史（アメリカ）Ⅱ		2		3年・後期			
国際関係史（ロシア）Ⅰ		2		3年・前期			
国際関係史（ロシア）Ⅱ		2		3年・後期			
日本社会と人権		2		3年・後期	多文化		

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	公共政策・NPO入門		1		1年・第3ターム(後期)	
		ミクロ経済学Ⅰ		2		1年・後期	ビジネス
		マクロ経済学Ⅰ		2		1年・後期	
		基本統計学Ⅰ		2		2年・前期	
		リーディング・パブリック・ポリシーⅰ		1		1年・第1ターム(前期)	
		リーディング・パブリック・ポリシーⅱ		1		1年・第2ターム(前期)	
		国際開発学		2		1年・後期	政治
		生涯学習概論		2		1年・後期	
		ミクロ経済学Ⅱ		2		2年・前期	ビジネス
		基本統計学Ⅱ－ⅰ		1		2年・第3ターム(後期)	
		基本統計学Ⅱ－ⅱ		1		2年・第4ターム(後期)	
		交通論		2		3年・前期	ビジネス 地
		開発社会学		2		2年・前期	
		非営利組織論Ⅰ		2		2年・前期	ビジネス 地
		非営利組織論Ⅱ		2		2年・後期	ビジネス 地
		財政学Ⅰ		2		2年・前期	
		財政学Ⅱ		2		2年・後期	
		現代社会と法Ⅰ		2		2年・前期	
		現代社会と法Ⅱ		2		2年・後期	
		経済政策論Ⅰ		2		2年・前期	政治
		経済政策論Ⅱ		2		2年・後期	
		組織の経済学Ⅰ		2		2年・前期	ビジネス
		組織の経済学Ⅱ		2		2年・後期	ビジネス
		マクロ経済学Ⅱ		2		2年・後期	
		金融論		2		2年・後期	ビジネス
		スポーツ開発論		2		2年・後期	ビジネス
		健康心理学		2		2年・後期	
		Comparative Education		2		2年・後期	
		地域再生論		2		2年・後期	ビジネス 地
		環境社会学		2		2年・後期	
		地方自治論		2		2年・前期	
		開発プロジェクト論		2		3年・前期	
比較法制度Ⅰ		2		3年・前期			
比較法制度Ⅱ		2		3年・後期			

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	多文化共生 プログラム		2		1年・前期	
				2		1年・後期	政治
				2		2年・前期	言語
				2		2年・前期	言語・公共 ^④
				2		2年・前期	
				2		2年・前期	
				2		2年・前期	政治
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		2年・前期	
				2		2年・後期	
				2		2年・後期	
				2		2年・後期	
				2		2年・後期	
				2		2年・後期	
				2		2年・後期	
				2		2年・後期	
				2		2年・後期	
				2		2年・後期	
				1		2年・第2ターム(前期)	
				2		3年・前期	
				2		3年・前期	
				2		3年・後期	
				2		3年・前期	
				2		3年・後期	
	2		3年・前期				
	2		3年・後期				
	2		3年・前期				
	2		3年・前期				

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	国際ビジネス入門		2		1年・前期	
		会計学Ⅰ		2		1年・後期	
		International Commerce		2		1年・後期	
		会計学Ⅱ		2		2年・前期	
		経営戦略論		2		2年・前期	
		人的資源管理論		2		2年・前期	
		国際経営論Ⅰ		2		2年・前期	
		国際経営論Ⅱ		2		2年・後期	
		マーケティング論Ⅰ		2		2年・前期	公共
		マーケティング論Ⅱ		2		2年・後期	
		多国籍企業論Ⅰ		2		2年・前期	
		多国籍企業論Ⅱ		2		2年・後期	
		財務管理論Ⅰ		2		2年・前期	
		財務管理論Ⅱ		2		2年・後期	
		経営史		2		2年・第4ターム(後期)	地
		公会計論		2		2年・前期	公共
		国際会計論		2		2年・後期	
		経営組織論		2		2年・後期	
		International Business		2		2年・後期	
		Introduction to Management		2		2年・後期	
		国際貿易論		2		3年・前期	
		国際金融論Ⅰ		2		3年・前期	公共
		国際金融論Ⅱ		2		3年・後期	
		国際ビジネス法務Ⅰ		2		3年・前期	公共
国際ビジネス法務Ⅱ		2		3年・後期			
テクノロジーマネジメント		2		3年・後期			

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
			必修	選択	自由		
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	言語・コミュニケーション研究入門A		1		1年・第3ターム(後期)	
		言語・コミュニケーション研究入門B		1		1年・第4ターム(後期)	
		フランスの文学と文化		2		2年・前期	多文化
		応用言語論Ⅰ		2		2年・前期	
		応用言語論Ⅱ		2		2年・後期	
		日本語学・日本語教育学Ⅰ		2		2年・前期	
		日本語学・日本語教育学Ⅱ		2		2年・後期	
		翻訳論Ⅰ		2		2年・前期	
		翻訳論Ⅱ		2		2年・後期	
		言語比較論Ⅰ		2		2年・前期	
		言語比較論Ⅱ		2		2年・後期	
		通訳技法論Ⅰ		2		2年・前期	
		通訳技法論Ⅱ		2		2年・後期	
		コミュニケーション技法論Ⅰ		2		2年・前期	
		コミュニケーション技法論Ⅱ		2		2年・後期	
		イギリスの文学と文化Ⅰ		2		2年・前期	多文化
		イギリスの文学と文化Ⅱ		2		2年・後期	多文化
		Cross-cultural Language and CommunicationⅠ		2		2年・前期	
		Cross-cultural Language and CommunicationⅡ		2		2年・後期	
		英文法論		2		3年・前期	
		英米文学概論Ⅰ		2		3年・前期	
		時事英語		2		3年・前期	
		英語学概論Ⅰ		2		3年・前期	
		英語学概論Ⅱ		2		3年・後期	
		英文構成法Ⅰ		2		3年・前期	
		英文構成法Ⅱ		2		3年・後期	
		英米文学概論Ⅱ		2		3年・後期	
		英語聴解法		2		3年・後期	
		Special Lecture in British and American LiteratureⅠ		2		3年・前期	
		Special Lecture in British and American LiteratureⅡ		2		3年・後期	
Communication in EnglishⅠ		1		3年・前期			
Communication in EnglishⅡ		1		3年・後期			

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考	
			必修	選択	自由			
専 門 科 目	5 プ ロ グ ラ ム 科 目	5プログラム 共通科目 (地域研究等)	地域研究入門		2		1年・前期	
			データ分析Ⅰ		2		2年・前期	
			データ分析Ⅱ		2		2年・後期	
			広島と世界		2		2年・後期	
			日本政治論		2		2年・前期	
			国際日本学		2		3年・前期	
			日本文化史Ⅰ		2		1年・後期	
			日本文化史Ⅱ		2		2年・前期	
			Modern Japanese Studies		2		2年・後期	
			東北アジア政治論		2		1年・後期	
			東南アジア研究		2		2年・後期	
			東アジア研究		2		3年・前期	
			中国文化論Ⅰ		2		2年・前期	
			中国文化論Ⅱ		2		2年・後期	
			アメリカ政治論ⅰ		1		2年・第3ターム(後期)	
			アメリカ政治論ⅱ		1		2年・第4ターム(後期)	
			American CultureⅠ		2		2年・前期	
			American CultureⅡ		2		2年・後期	
			ラテンアメリカ研究Ⅰ		2		3年・前期	
			ラテンアメリカ研究Ⅱ		2		3年・後期	
			ヨーロッパ政治論		2		2年・前期	
			イギリス文化論Ⅰ		2		2年・前期	
			イギリス文化論Ⅱ		2		2年・後期	
			フランス文化論		2		2年・後期	
			Études de la société française		2		3年・後期	
			Deutschland und Japan im Vergleich		2		3年・後期	
			ロシア研究		2		1年・後期	
			中東アラブ研究入門		2		1年・後期	
			中東アラブ研究		2		2年・前期	
			アフリカ研究Ⅰ		2		1年・後期	
			アフリカ研究Ⅱ－ⅰ		1		2年・第1ターム(前期)	
			アフリカ研究Ⅱ－ⅱ		1		2年・第2ターム(前期)	
アフリカ社会と開発		2		2年・前期				

科目区分		授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考	
			必修	選択	自由			
専 門 科 目	ア ク テ ィ ブ 科 目	国際研究特講Ⅰ		2		全学年		
		国際研究特講Ⅱ		2		全学年		
		国際交流	海外短期英語留学		2		全学年	
		海外短期フランス語留学		4		全学年		
		海外短期ロシア語留学		2		全学年		
		海外短期中国語留学		2		全学年		
		HIROSHIMA and PEACE		2		2・3・4年次		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ	企業インターンシップ		2		2・3・4年次		
		学部派遣海外インターンシップ		2		2・3・4年次		
		公的機関インターンシップ		2		2・3・4年次		
	演 習	専門演習Ⅰ	1			3年次	注1	
		専門演習Ⅱ	1			3年次	注1	
		卒論演習Ⅰ	1			4年次		
		卒論演習Ⅱ	1			4年次		
	特 別 演 習 ・ 特 別 講 義	特別演習Ⅰ		1		4年次	注2	
		特別演習Ⅱ		1		4年次	注2	
		特別演習Ⅲ		1		4年次		
		特別演習Ⅳ		1		4年次		
		特別講義Ⅰ		2		4年次		
		特別講義Ⅱ		2		4年次		
卒 業 論 文	卒業論文	4			4年次	注3		

注1 専門演習について

- (1) 専門演習の分野から2単位以上（演習Ⅰと演習Ⅱを各1単位以上）を履修すること。
- (2) 「専門演習Ⅰ」は前期履修を、「専門演習Ⅱ」は後期履修を原則とし、事前に指導教員の許可があった場合、「専門演習Ⅰ」の後期履修又は「専門演習Ⅱ」の前期履修が認められる。

注2 特別演習について

「特別演習Ⅰ」、「特別演習Ⅱ」は、事前に指導教員の許可があった場合に履修が認められる。また、一定の条件のもとに「アクティブ科目」への加算が認められる。

注3 卒業論文着手要件

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、国際学部においては、次の各号のいずれかに該当する者とする。なお、卒業論文は、原則として認定を受けようとするプログラムに所属する教員の指導のもとで執筆する必要がある。

- (1) 次に掲げる条件を満たす者
卒業の要件となる128単位のうち、90単位以上を修得していること
- (2) 教授会で認められた者

国際学部 全専門科目 配置図

	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
5 ブ ロ グ ラ ム 科 目	国際政治・平和 <前期> 国際関係論 <後期> 国際関係史入門 平和研究入門	国際安全保障論 国際協力論Ⅰ・Ⅲ[公共] 平和研究Ⅰ・Ⅱ 国際法 国際政治学 Peace and Conflict Studies Learning ILIs Contemporary Political Issues History of Japanese Politics and Diplomacy	比較政治学 国際社会論Ⅰ・Ⅲ[多文化] 国際関係史(中国)Ⅰ・Ⅱ 国際政治理論	国際人権法 開発政治論Ⅰ・Ⅲ[公共] 国際機構論Ⅰ・Ⅱ 国際関係史(日本)Ⅰ・Ⅱ 国際関係史(朝鮮半島)Ⅰ・Ⅱ 国際関係史(アメリカ)Ⅰ・Ⅱ 国際関係史(ロシア)Ⅰ・Ⅱ 日本社会と人権[多文化]	卒業論文 (発表会)
	公共政策・NPO <前期> リーディング・パブリック ・ポリシーⅠ・Ⅱ <後期> 公共政策・NPO入門 ミクロ経済学Ⅰ[ビジネス] マクロ経済学Ⅰ 国際開発学[政治] 生涯学習概論	基本統計学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ[ビジネス] 非営利組織論Ⅰ・Ⅱ[ビジネス] 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ 組織の経済学Ⅰ・Ⅱ[ビジネス] 金融論[ビジネス] ミクロ経済学Ⅱ[ビジネス] 健康心理学 地域再生論[ビジネス] 地方自治論	基本統計学Ⅱ-i・ii 開発社会学 財政学Ⅰ・Ⅱ 経済政策論Ⅰ[政治]・Ⅱ マクロ経済学Ⅱ スポーツ開発論[ビジネス] Comparative Education 環境社会学	開発プロジェクト論 比較法制度Ⅰ・Ⅱ 交通論[ビジネス]	卒業論文 (発表会)
	多文化共生 <前期> 多文化共生入門 <後期> 社会文化思想史Ⅰ[政治]	テキスト分析法[言語] ジェンダーとセクシュアリティ 社会文化思想史Ⅱ 比較文化論Ⅰ・Ⅱ 文化交流史Ⅰ・Ⅱ 美術史(日本)Ⅰ・Ⅱ フィールドワーク論[言語・公共] マス&ソーシャルメディア論[政治] East Asian Culture and Societies Hiroshima and Atomic Bombing in Media Future StudiesⅠ Pre-modern Japanese Studies	メディア・リテラシー エスニシティと宗教Ⅰ 音楽人類学Ⅰ・Ⅱ 共生の哲学Ⅰ・Ⅱ 美学Ⅰ・Ⅱ 労働と社会	エスニシティと宗教Ⅱ 異文化間交渉論 比較民族学Ⅰ・Ⅱ 美術史(西洋)Ⅰ・Ⅱ 美術史(現代)Ⅰ・Ⅱ Future StudiesⅡ Exploring Japanese Society	卒業論文 (発表会)
	国際ビジネス <前期> 国際ビジネス入門 <後期> 会計学Ⅰ International Commerce	会計学Ⅱ 人的資源管理論 マーケティング論Ⅰ[公共]・Ⅱ 多国籍企業論Ⅰ・Ⅱ 経営史 国際会計論 International Business Introduction to Management	経営戦略論 国際経営論Ⅰ・Ⅱ 財務管理論Ⅰ・Ⅱ 公会計論[公共] 経営組織論	国際貿易論 国際金融論Ⅰ[公共]・Ⅱ 国際ビジネス法務Ⅰ[公共]・Ⅱ テクノロジーマネジメント	卒業論文 (発表会)
	言語・コミュニケーション <後期> 言語・コミュニケーション 研究入門A 言語・コミュニケーション 研究入門B	応用言語論Ⅰ・Ⅱ 翻訳論Ⅰ・Ⅱ 通訳技法論Ⅰ・Ⅱ フランスの文学と文化[多文化] 日本語学・日本語教育学Ⅰ・Ⅱ コミュニケーション技法論Ⅰ・Ⅱ イギリスの文学と文化Ⅰ・Ⅲ[多文化] Cross-Cultural Language and CommunicationⅠ・Ⅱ	言語比較論Ⅰ・Ⅱ	英文法論 時事英語 英語学概論Ⅰ・Ⅱ Special Lecture in British and American LiteratureⅠ・Ⅱ Communication in EnglishⅠ・Ⅱ	卒業論文 (発表会)
	5プログラム共通科目(地域研究等) <前期> 地域研究入門 <後期> 日本文化史Ⅰ 東北アジア政治論 ロシア研究 中東アラブ研究入門 アフリカ研究Ⅰ	データ分析Ⅰ・Ⅱ 日本政治論 東南アジア研究 アメリカ政治論Ⅰ・ii イギリス文化論Ⅰ・Ⅱ Modern Japanese Studies American CultureⅠ・Ⅱ	中東アラブ研究 日本文化史Ⅱ 中国文化論Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ政治論 フランス文化論 アフリカ研究Ⅱ-i・ii アフリカ社会と開発 広島と世界	国際日本学 ラテンアメリカ研究Ⅰ・Ⅱ Études de la société française Deutschland und Japan im Vergleich	
アク テ ィ ブ 科 目	アクティブ科目(国際交流) 国際研究特講Ⅰ・Ⅱ 海外短期英語留学 海外短期フランス語留学 海外短期ロシア語留学 海外短期中国語留学 HIROSHIMA and PEACE アクティブ科目(インターンシップ) 企業インターンシップ 公的機関インターンシップ 学部派遣海外インターンシップ				
専 門 基 礎 科 目	<後期> 基礎演習 <前期> 国際研究入門 <後期> データ分析入門 専門基礎科目(ベーシック入門科目、ベーシック演習科目、英語スキルアップ科目)	発展演習Ⅰ 英語読解法Ⅰ・Ⅱ 英文作法Ⅰ・Ⅱ	発展演習Ⅱ 英語討論技法Ⅰ・Ⅱ	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	卒論演習Ⅰ・Ⅱ ※青色=外国語系科目、外国語による専門科目、国際交流系科目

情報科学部 4学科共通

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	解析学Ⅰ	2			1年・前期	
	解析学Ⅰ演習	1			1年・前期	
	線形代数学Ⅰ	2			1年・前期	
	線形代数学Ⅰ演習	1			1年・前期	
	プログラミングⅠ	2			1年・前期	
	プログラミングⅠ演習	1			1年・前期	
	コンピュータ基礎	2			1年・前期	
	情報科学英語	1			1年・第2ターム(前期)	
	解析学Ⅱ		2		1年・後期	
	線形代数学Ⅱ	2			1年・後期	
	実社会指向基礎数学	2			1年・後期	
	プログラミングⅡ	2			1年・後期	
	プログラミングⅡ演習	1			1年・後期	
	データ構造とアルゴリズムⅠ	2			1年・後期	
	情報科学序説		1		1年・第3ターム(後期)	
	離散数学		2		2年・第1ターム(前期)	
	確率統計	2			2年・第1ターム(前期)	
	情報基礎数学		2		2年・第2ターム(前期)	
	幾何学概論			2	2年・第1ターム(前期)	
	情報ネットワーク		2		2年・第1ターム(前期)	
	データ構造とアルゴリズムⅡ		2		2年・第2ターム(前期)	
	実践的AI技術		2		2年・第2ターム(前期)	
	批判的創造的思考法		2		2年・第4ターム(後期)	
	実践的ICT活用事例		2		2年・第4ターム(後期)	
	課題解決型演習		1		2年次	Ⓓ
	システム開発実践		2		3年次	Ⓓ
	情報科学基礎実験 a	1			2年次	
	情報科学基礎実験 b	1			2年次	
	情報科学基礎実験 c	1			2年次	
	情報セキュリティ基礎	2			2年・第3ターム(後期)	
	モデル化とシミュレーション		2		2年・第3ターム(後期)	

注1 学科配属要件

2年次進級が認められた者は、本人の希望と成績により、「情報工学科」「知能工学科」「システム工学科」「医用情報科学科」のいずれかの学科に配属される。

注2 2年次進級要件

2年次以降の情報科学部開設科目については、次の(1)及び(2)に該当する、又は(3)に該当する者でなければ履修の登録を行うことができない。

- (1) 前期を1期及び後期を1期、各期を途中休学することなく履修していること
- (2) 1年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、20単位以上を修得していること
- (3) 教授会で認められた者

情報科学部 情報工学科

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	プログラミングⅢ		2		2年・第2ターム(前期)	
	常微分方程式		2		2年・第1ターム(前期)	注4
	観光情報学		2		2年・第2ターム(前期)	㊦
	高度プログラミングA		1		2年・第1ターム(前期)	
	高度プログラミングB		1		2年・第1ターム(前期)	
	高度プログラミングC		1		2年・第2ターム(前期)	
	高度プログラミングD		1		2年・第2ターム(前期)	
	デジタルデザイン		2		2年・第3ターム(後期)	
	オペレーティングシステム		2		2年・第3ターム(後期)	
	ネットワークプロトコル		2		2年・第3ターム(後期)	
	コンピュータグラフィックス I		2		2年・第4ターム(後期)	注4
	コンピュータアーキテクチャ		2		2年・第4ターム(後期)	
	物理学		2		2年・第4ターム(後期)	
	情報システム開発		2		2年・第3ターム(後期)	
	最適化技法		2		2年・第4ターム(後期)	
	技術者倫理		2		2～4年次・前期	
	情報と職業		2		2～4年次・前期	
	知的財産権		2		2～4年次・前期	
	情報セキュリティ応用		2		3年・第1ターム(前期)	
	データベース		2		3年・第1ターム(前期)	
	技術英語演習	1			3年・第1ターム(前期)	
	情報工学実験 I	1.5			3年・第1ターム(前期)	
	情報工学実験 II	1.5			3年・第2ターム(前期)	
	ネットワーク設計		2		3年・第1ターム(前期)	
	コンピュータシステム		2		3年・第2ターム(前期)	
	ネットワーク基盤技術		2		3年・第2ターム(前期)	
	情報理論		2		3年・第2ターム(前期)	
	医用データサイエンス		2		3年・第1ターム(前期)	
	リコンフィギャラブルコンピューティング		2		3年・第3ターム(後期)	
	分散システム		2		3年・第2ターム(前期)	
	ネットワークソフトウェア		2		3年・第2ターム(前期)	
	センサシステム		2		3年・第3ターム(後期)	
	情報工学実験Ⅲ	1.5			3年・第3ターム(後期)	
	情報工学実験Ⅳ	1.5			3年・第4ターム(後期)	
画像情報処理		2		3年・第4ターム(後期)	注4	
設計最適化手法		2		3年・第4ターム(後期)		

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	信頼性工学		2		3年・第4ターム(後期)	
	ワイヤレスネットワーク		2		3年・第4ターム(後期)	
	トラフィック分析		2		3年・第4ターム(後期)	
	デジタル信号処理		2		3年・第3ターム(後期)	
	プレゼンテーション技法	1			3年・第4ターム(後期)	注3
	技術文書作成法	1			4年次	注3
	卒業研究Ⅰ	4			4年次	注3
	卒業研究Ⅱ	4			4年次	注3

注1 3年次進級要件

3年次以降の情報科学部開設科目については、次の各号のいずれかに該当している者でなければ履修の登録を行うことができない。

- (1) 2年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、2年次までの必修の実験、プログラミングⅠ演習、プログラミングⅡ演習、eラーニング英語Ⅰ及びeラーニング英語Ⅱの全単位を含む66単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

注2 卒業研究着手要件（4年次進級要件）

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、次の各号のいずれかに該当する者とする。

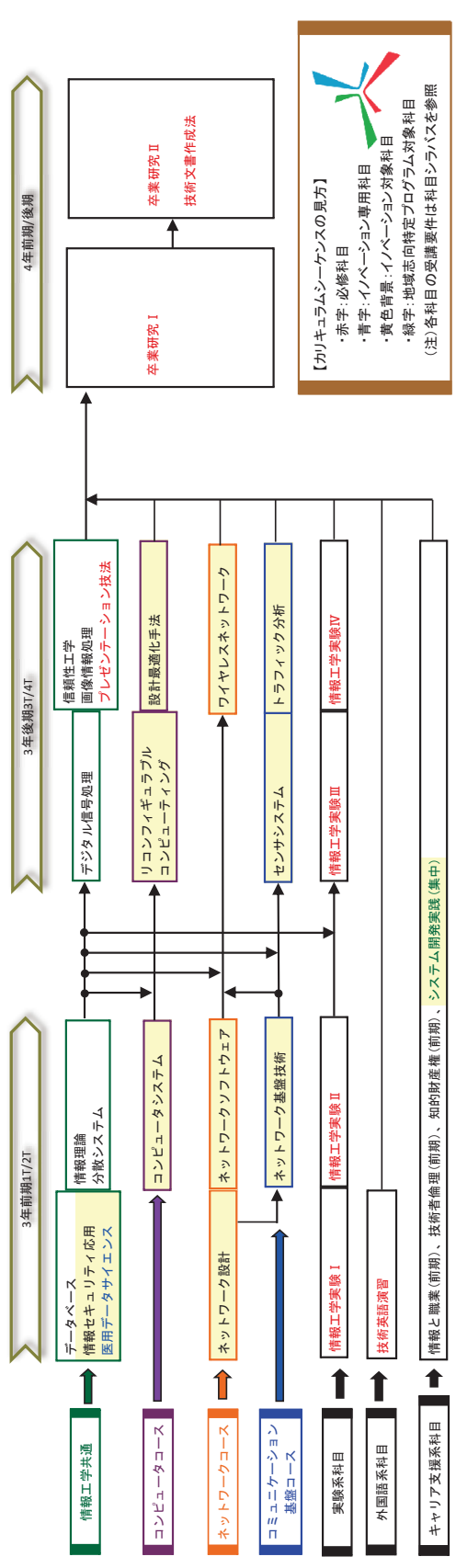
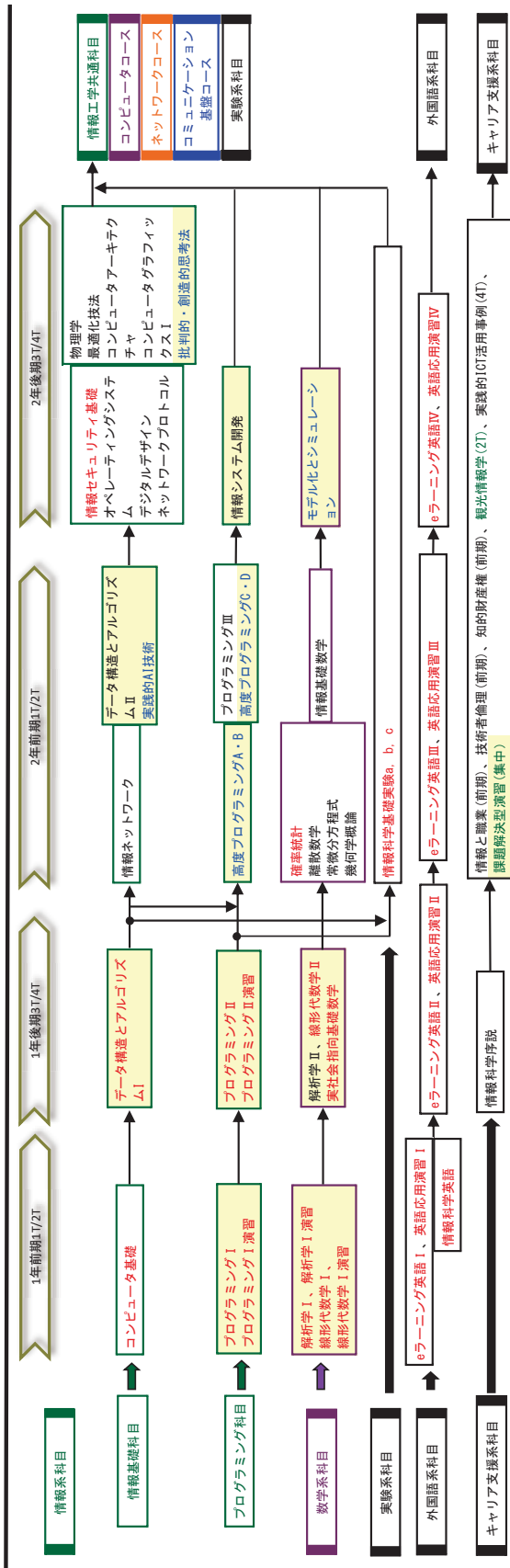
- (1) 3年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、3年次までの必修の実験、演習科目（専門教育科目に限る）、eラーニング英語Ⅲ及びeラーニング英語Ⅳの全単位を含む110単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

注3 卒業研究等履修要件

- (1) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (2) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに前後期いずれの学期においても履修は可能であるが、卒業研究Ⅱについては、卒業研究Ⅰの単位修得者にのみ履修が認められる。
- (3) プレゼンテーション技法、技術文書作成法はともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (4) 原則として、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること。

注4 教職課程登録者のみ履修登録可

情報工学科カリキュラムシラバス



【カリキュラムシラバスの見方】

- 赤字: 必修科目
- 青字: インターンシップ専用科目
- 黄色背景: インターンシップ対象科目
- 緑字: 地域志向特定プログラム対象科目

(注) 各科目の受講要件は科目シラバスを参照

情報科学部 知能工学科

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	オートマトンと形式言語	2			2年・第2ターム(前期)	
	常微分方程式		2		2年・第1ターム(前期)	注4
	観光情報学		2		2年・第2ターム(前期)	地
	高度プログラミングA		1		2年・第1ターム(前期)	
	高度プログラミングB		1		2年・第1ターム(前期)	
	高度プログラミングC		1		2年・第2ターム(前期)	
	高度プログラミングD		1		2年・第2ターム(前期)	
	数理計画法		2		2年・第3ターム(後期)	
	数理論理学		2		2年・第3ターム(後期)	
	コンピュータグラフィックス I		2		2年・第4ターム(後期)	
	プログラミングⅢ		2		2年・第3ターム(後期)	
	プログラミングⅢ演習		1		2年・第3ターム(後期)	
	グラフ理論		2		2年・第4ターム(後期)	
	オペレーティングシステム		2		2年・第4ターム(後期)	
	デジタル信号処理		2		2年・第3ターム(後期)	
	数値解析		2		2年・第4ターム(後期)	
	情報システム開発		2		2年・第3ターム(後期)	
	ソフトウェア工学概説		2		3年・第4ターム(後期)	
	技術者倫理		2		2～4年次・前期	
	情報と職業		2		2～4年次・前期	
	知的財産権		2		2～4年次・前期	
	情報理論		2		3年・第1ターム(前期)	
	記号処理プログラミング		2		3年・第1ターム(前期)	
	データベース		2		3年・第1ターム(前期)	
	人工知能		2		3年・第2ターム(前期)	
	技術英語演習 I	1			3年・第4ターム(後期)	
	知能工学実験 I	1.5			3年・第1ターム(前期)	
	知能工学実験 II	1.5			3年・第2ターム(前期)	
	コンパイラ		2		3年・第2ターム(前期)	
	計算論		2		3年・第2ターム(前期)	
	コンピュータグラフィックス II		2		3年・第2ターム(前期)	
	パターン認識		2		3年・第2ターム(前期)	
	情報検索		2		3年・第3ターム(後期)	
	医用データサイエンス		2		3年・第1ターム(前期)	
	自然言語処理		2		3年・第1ターム(前期)	
	医用画像処理		2		3年・第3ターム(後期)	
	データマイニング		2		3年・第3ターム(後期)	
	バイオインフォマティクス I		1		3年・第3ターム(後期)	
	バイオインフォマティクス II		1		3年・第4ターム(後期)	

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	知能工学実験Ⅲ	1.5			3年・第3ターム(後期)	
	知能工学実験Ⅳ	1.5			3年・第4ターム(後期)	
	機械学習		2		3年・第4ターム(後期)	
	感性情報処理		2		3年・第3ターム(後期)	
	画像情報処理		2		3年・第4ターム(後期)	
	プレゼンテーション技法	1			4年次	注3
	技術英語演習Ⅱ	1			4年次	注3
	技術文書作成法	1			4年次	注3
	卒業研究Ⅰ	4			4年次	注3
	卒業研究Ⅱ	4			4年次	注3

注1 3年次進級要件

3年次以降の情報科学部開設科目については、次の各号のいずれかに該当している者でなければ履修の登録を行うことができない。

- (1) 2年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、2年次までの必修の実験、プログラミングⅠ演習、プログラミングⅡ演習、eラーニング英語Ⅰ及びeラーニング英語Ⅱの全単位を含む66単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

注2 卒業研究着手要件（4年次進級要件）

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、次の各号のいずれかに該当する者とする。

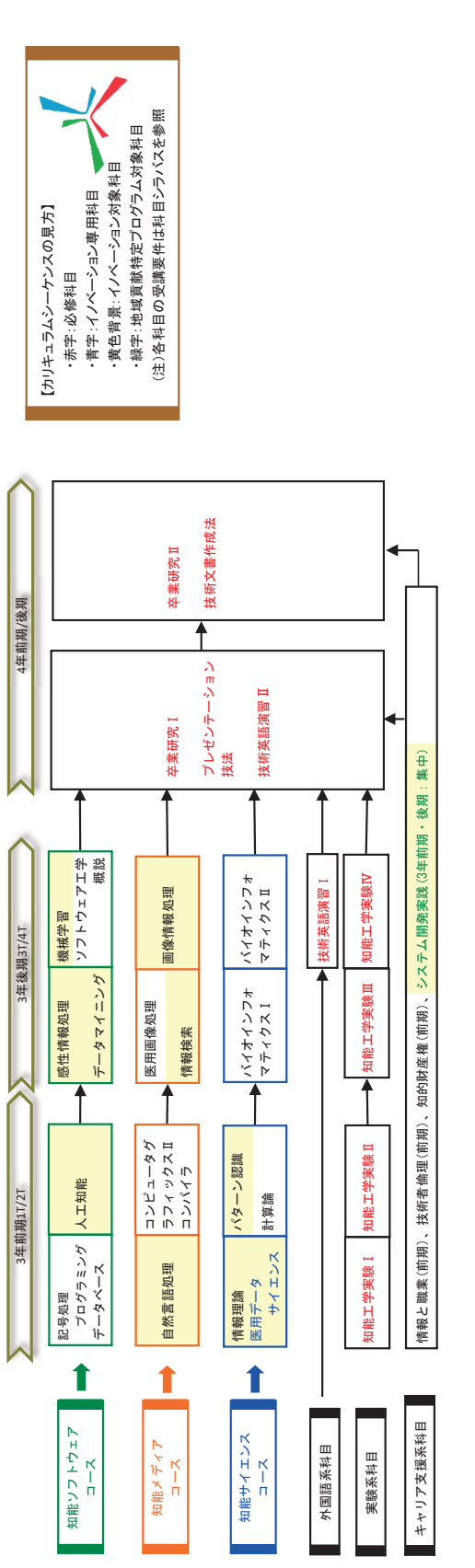
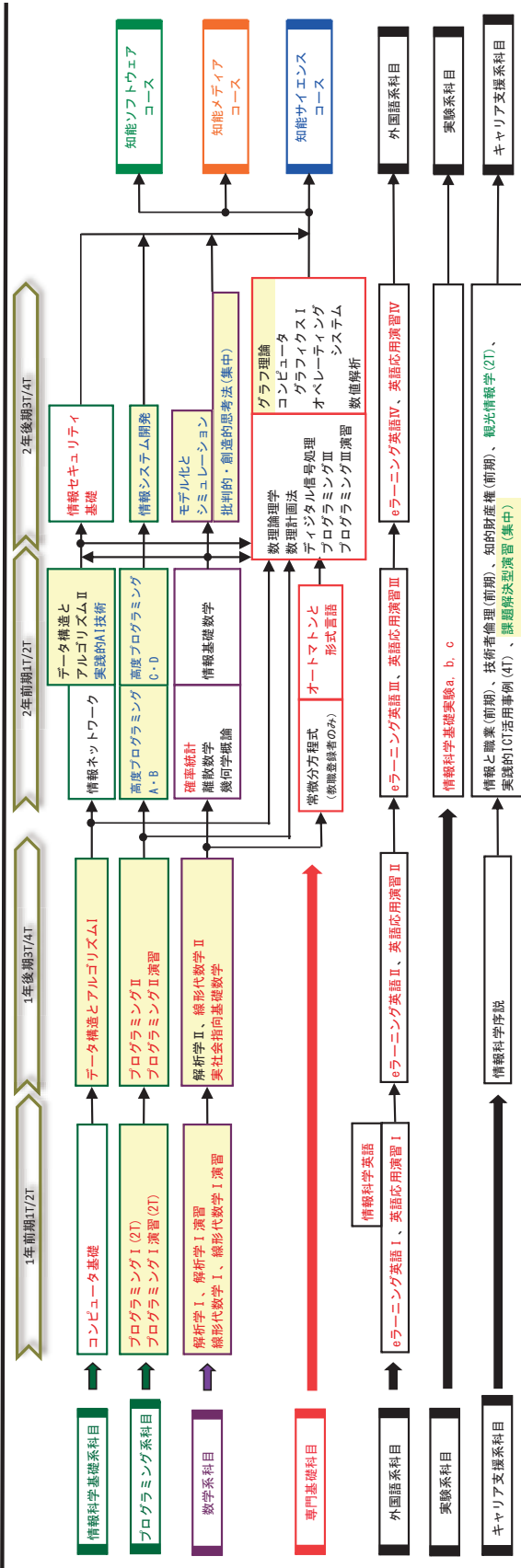
- (1) 3年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、3年次までの必修の実験、演習科目（専門教育科目に限る）、eラーニング英語Ⅲ及びeラーニング英語Ⅳの全単位を含む110単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

注3 卒業研究等履修要件

- (1) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (2) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに前後期いずれの学期においても履修は可能であるが、卒業研究Ⅱについては、卒業研究Ⅰの単位修得者にのみ履修が認められる。
- (3) プレゼンテーション技法、技術英語演習Ⅱ、技術文書作成法はともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (4) 原則として、プレゼンテーション技法及び技術英語演習Ⅱは卒業研究Ⅰと同じ履修期に、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること。

注4 教職課程登録者のみ履修登録可

知能工学科カリキュラムシークエンス



【カリキュラムシークエンスの風方】

- ・赤字: 必修科目
- ・青字: インバプション専用科目
- ・黄色背景: インバプション対象科目
- ・緑字: 地域貢献特定プログラム対象科目

(注) 各科目の受講要件は科目シラバスを参照

情報科学部 システム工学科

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	常微分方程式		2		2年・第1ターム(前期)	
	観光情報学		2		2年・第2ターム(前期)	㊸
	高度プログラミングA		1		2年・第1ターム(前期)	
	高度プログラミングB		1		2年・第1ターム(前期)	
	高度プログラミングC		1		2年・第2ターム(前期)	
	高度プログラミングD		1		2年・第2ターム(前期)	
	電気回路		2		2年・第2ターム(前期)	
	プログラミングⅢ		2		2年・第1ターム(前期)	
	プログラミングⅢ演習		1		2年・第2ターム(前期)	
	物理学		2		2年・第4ターム(後期)	
	情報理論		2		2年・第1ターム(前期)	
	応用幾何学		2		2年・第3ターム(後期)	
	情報システム開発		2		2年・第3ターム(後期)	
	機械力学		2		2年・第3ターム(後期)	
	電子回路		2		2年・第4ターム(後期)	
	コンピュータグラフィックス		2		2年・第4ターム(後期)	
	離散時間システム		2		2年・第4ターム(後期)	
	オペレーティングシステム		2		2年・第3ターム(後期)	
	数値計算法		2		3年・第1ターム(前期)	
	知的財産権		2		2～4年・前期	
	情報と職業		2		2～4年・前期	
	技術者倫理		2		2～4年・前期	
	システム工学実験Ⅰ		1.5		3年・第1ターム(前期)	
	システム工学実験Ⅱ		1.5		3年・第2ターム(前期)	
	メカトロニクス		2		3年・第2ターム(前期)	
	制御工学Ⅰ		2		3年・第2ターム(前期)	
	ロボティクスⅠ		2		3年・第1ターム(前期)	
	最適化手法		2		3年・第1ターム(前期)	
	デジタル無線通信		2		3年・第2ターム(前期)	
	外書講読演習		1		3年・第2ターム(前期)	
	情報代数学		2		3年・第1ターム(前期)	
	確率過程論		2		3年・第1ターム(前期)	
	データベース		2		3年・第1ターム(前期)	注4
	ヒューマンインタフェースⅠ		2		3年・第1ターム(前期)	
	医用データサイエンス		2		3年・第1ターム(前期)	
	ヒューマンインタフェースⅡ		2		3年・第2ターム(前期)	
ソフトウェア工学概論		2		3年・第3ターム(後期)		

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	画像情報処理		2		3年・第1ターム(前期)	
	制御工学Ⅱ		2		3年・第3ターム(後期)	
	偏微分方程式		2		3年・第4ターム(後期)	
	ロボティクスⅡ		2		3年・第3ターム(後期)	
	パターン認識		2		3年・第2ターム(前期)	
	情報セキュリティ応用		2		3年・第4ターム(後期)	
	ソフトコンピューティング		2		3年・第4ターム(後期)	
	システム工学実験Ⅲ	1.5			3年・第3ターム(後期)	
	システム工学実験Ⅳ	1.5			3年・第4ターム(後期)	
	プレゼンテーション技法	1			4年次	注3
	技術文書作成法	1			4年次	注3
	卒業研究Ⅰ	4			4年次	注3
	卒業研究Ⅱ	4			4年次	注3

注1 3年次進級要件

3年次以降の情報科学部開設科目については、次の各号のいずれかに該当している者でなければ履修の登録を行うことができない。

- (1) 2年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、2年次までの必修の実験、プログラミングⅠ演習、プログラミングⅡ演習、eラーニング英語Ⅰ及びeラーニング英語Ⅱの全単位を含む66単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

注2 卒業研究着手要件（4年次進級要件）

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、次の各号のいずれかに該当する者とする。

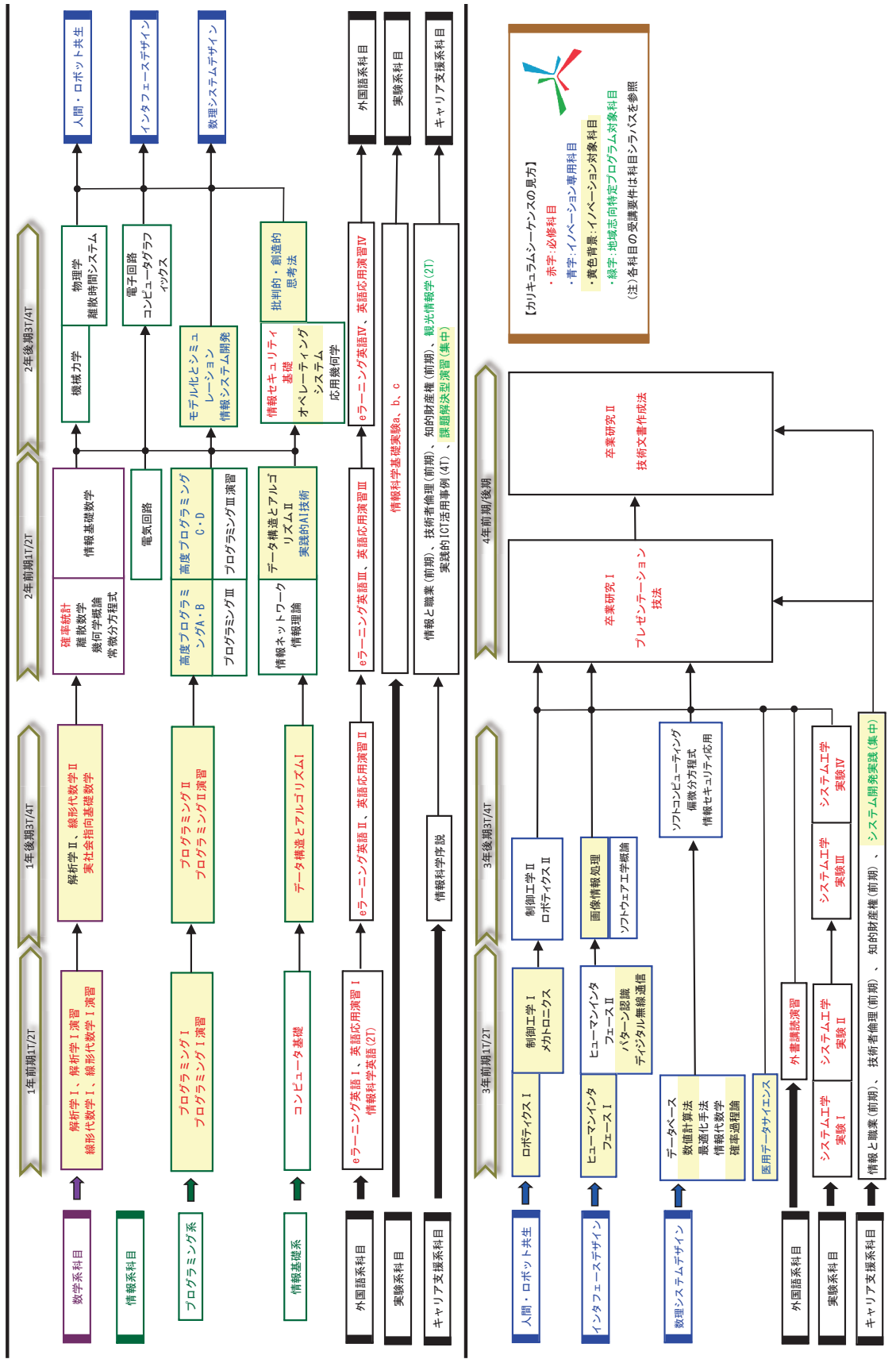
- (1) 3年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、3年次までの必修の実験、演習科目（専門教育科目に限る）、eラーニング英語Ⅲ及びeラーニング英語Ⅳの全単位を含む110単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

注3 卒業研究等履修要件

- (1) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (2) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに前後期いずれの学期においても履修は可能であるが、卒業研究Ⅱについては、卒業研究Ⅰの単位修得者にのみ履修が認められる。
- (3) プレゼンテーション技法、技術文書作成法はともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (4) 原則として、プレゼンテーション技法は卒業研究Ⅰと同じ履修期に、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること。

注4 教職課程登録者のみ履修登録可

システム工学科カリキュラムシナキケンス



【カリキュラムシナキケンスの見方】

- 赤字: 必修科目
- 青字: イノベーション専攻科目
- 黄色背景: インノベーション対象科目
- 緑字: 地域志向特定プログラム対象科目

(注)各科目の受講要件は科目シラバスを参照

情報科学部 医用情報科学科

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	化学		2		2年・第2ターム(前期)	
	観光情報学		2		2年・第2ターム(前期)	④
	高度プログラミングA		1		2年・第1ターム(前期)	
	高度プログラミングB		1		2年・第1ターム(前期)	
	高度プログラミングC		1		2年・第2ターム(前期)	
	高度プログラミングD		1		2年・第2ターム(前期)	
	回路工学基礎Ⅰ		1		2年・第1ターム(前期)	
	回路工学基礎Ⅱ		1		2年・第2ターム(前期)	
	医科学概論Ⅰ		1		2年・第1ターム(前期)	
	医科学概論Ⅱ		1		2年・第2ターム(前期)	
	力学		2		2年・第4ターム(後期)	
	幾何光学・波動		2		2年・第3ターム(後期)	
	電気磁気学		2		2年・第4ターム(後期)	
	プログラミングⅢ		2		2年・第4ターム(後期)	
	回路工学応用		2		2年・第3ターム(後期)	
	生物学Ⅰ		1		2年・第3ターム(後期)	
	生物学Ⅱ		1		2年・第4ターム(後期)	
	医用情報システム開発		2		2年・第4ターム(後期)	
	オペレーティングシステム		2		2年・第3ターム(後期)	注4
	情報システム開発		2		2年・第3ターム(後期)	
	情報と職業		2		2～4年・前期	
	技術者倫理		2		2～4年・前期	
	知的財産権		2		2～4年・前期	
	技術英語実践演習Ⅰ		0.5		3年・第1ターム(前期)	
	技術英語実践演習Ⅱ		0.5		3年・第2ターム(前期)	
	医用情報科学実験Ⅰ		1.5		3年・第1ターム(前期)	
	医用情報科学実験Ⅱ		1.5		3年・第2ターム(前期)	
	医用データサイエンス		2		3年・第1ターム(前期)	
	医用情報科学のための病院実習		1		3年・第2ターム(前期)	
	デジタル信号処理		2		3年・第1ターム(前期)	
	機械工学		2		3年・第1ターム(前期)	
	データベース		2		3年・第1ターム(前期)	注4
	量子力学		1		3年・第1ターム(前期)	
	統計力学		1		3年・第2ターム(前期)	
	制御工学		2		3年・第2ターム(前期)	
	電気電子計測		2		3年・第2ターム(前期)	
分子生物学Ⅰ		1		3年・第1ターム(前期)		
分子生物学Ⅱ		1		3年・第2ターム(前期)		

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専 門 科 目	医用生体画像計測		2		3年・第2ターム(前期)	
	バイオインフォマティクスⅠ		1		3年・第3ターム(後期)	
	バイオインフォマティクスⅡ		1		3年・第4ターム(後期)	
	生物工学		2		3年・第4ターム(後期)	
	ワイヤレスネットワーク		2		3年・第4ターム(後期)	注4
	医用画像処理		2		3年・第3ターム(後期)	
	医用ロボット工学		2		3年・第4ターム(後期)	
	バイオメカニクス		2		3年・第3ターム(後期)	
	生体情報工学		2		3年・第3ターム(後期)	
	医用情報通信工学		2		3年・第4ターム(後期)	
	医用情報科学実験Ⅲ	1.5			3年・第3ターム(後期)	
	医用情報科学実験Ⅳ	1.5			3年・第4ターム(後期)	
	プレゼンテーション技法	1			4年次	注3
	技術文書作成法	1			4年次	注3
	卒業研究Ⅰ	4			4年次	注3
	卒業研究Ⅱ	4			4年次	注3

注1 3年次進級要件

3年次以降の情報科学部開設科目については、次の各号のいずれかに該当している者でなければ履修の登録を行うことができない。

- (1) 2年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、2年次までの必修の実験、プログラミングⅠ演習、プログラミングⅡ演習、eラーニング英語Ⅰ及びeラーニング英語Ⅱの全単位を含む66単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

注2 卒業研究着手要件（4年次進級要件）

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、次の各号のいずれかに該当する者とする。

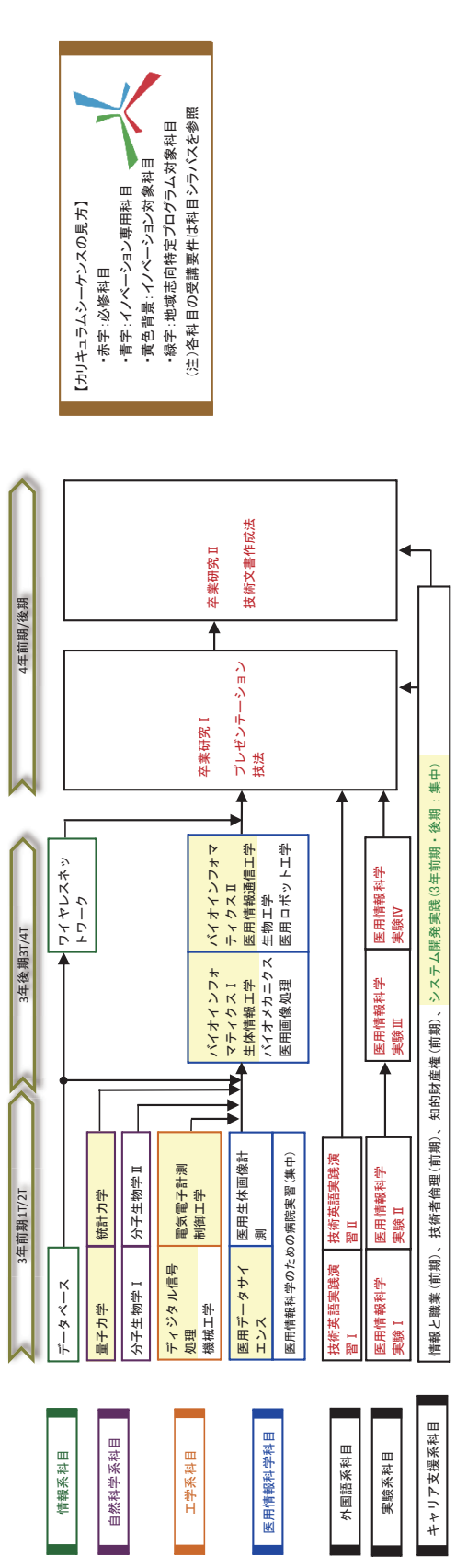
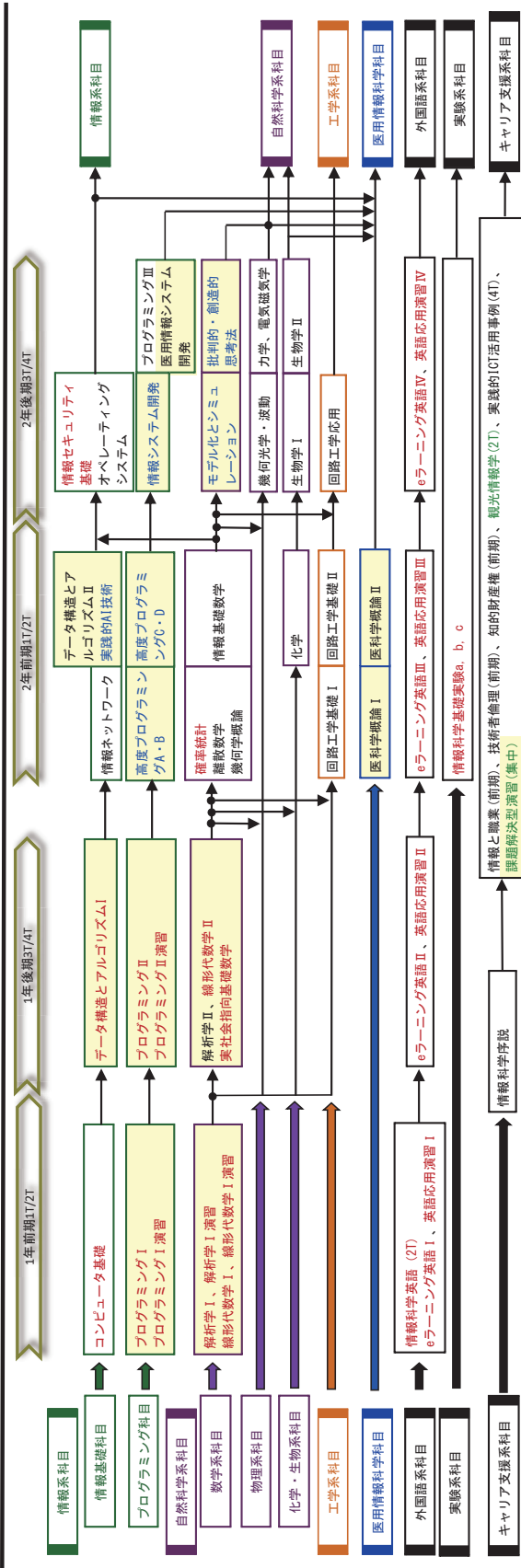
- (1) 3年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、3年次までの必修の実験、演習科目（専門教育科目に限る）、eラーニング英語Ⅲ及びeラーニング英語Ⅳの全単位を含む110単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

注3 卒業研究等履修要件

- (1) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (2) 卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱはともに前後期いずれの学期においても履修は可能であるが、卒業研究Ⅱについては、卒業研究Ⅰの単位修得者にのみ履修が認められる。
- (3) プレゼンテーション技法、技術文書作成法はともに履修期間はそれぞれ半期である。
- (4) 原則として、プレゼンテーション技法は卒業研究Ⅰと同じ履修期に、技術文書作成法は卒業研究Ⅱと同じ履修期に履修すること。

注4 教職課程登録者のみ履修登録可

医用情報科学カリキュラムシナジェンシ



【カリキュラムシナジェンシの考え方】

- 赤字: 必修科目
- 青字: インターベンション専用科目
- 黄色背景: インベンション対象科目
- 緑字: 地域志向特定プログラム対象科目

(注) 各科目の受講要件は科目シラバスを参照

芸術学部 美術学科、デザイン工芸学科共通

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	現代美術演習Ⅰ		2		1年次	
	デザイン概論		2		1年・前期	注2
	工芸概論		2		1年・前期	注2
	絵画材料論		2		1年・前期	
	美術解剖学Ⅰ		2		1年・前期	注1
	美術解剖学Ⅱ		2		1年・後期	注1
	油絵入門		2		1年・第3ターム(後期)	
	日本画入門		2		1年・第3ターム(後期)	
	色彩論		2		1年・後期	注2
	図法及び製図		2		2年・後期	注2
	材料技法演習(木工)		1		2年・第3ターム(後期)	
	材料技法演習(塗装)		1		2年・第4ターム(後期)	
	現代美術演習Ⅱ		2		2年次	
	芸術工学		2		2年・前期	
	工芸材料概説		2		2年・前期	
	写真/映像概論		2		2年・前期	
	西洋美術史Ⅰ		2		2年・前期	
	現代美術史Ⅰ		2		2年・前期	
	西洋美術史Ⅱ		2		2年・後期	
	現代美術史Ⅱ		2		2年・後期	
	版画制作演習		2		2年・後期	
	絵画論		2		2年・後期	
	アートマネジメント概論		2		2年・後期	㊦
	アーティスト・セルフマネジメント概論		2		2年・後期	
	文化財学研究		2		3年・前期	
	彫刻概論		2		3年・前期	注3
	美学Ⅰ		2		2年・前期	
	日本美術史Ⅰ		2		2年・前期	
	東洋美術史Ⅰ		2		3年・前期	
	美学Ⅱ		2		2年・後期	
	日本美術史Ⅱ		2		2年・後期	
	東洋美術史Ⅱ		2		3年・後期	
	現代美術論		2		3年・後期	
	造形応用研究Ⅰ		2		1～4年次	㊦
	造形応用研究Ⅱ		2		2～4年次	㊦
	地域実践演習		1		3年次	㊦
	芸術と知的財産権		1		3年・第3ターム(後期)	
	専門演習Ⅰ			3	1～4年次	注4

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	専門演習Ⅱ			3	1～4年次	注4
	専門演習Ⅲ			3	1～4年次	注4
	専門演習Ⅳ			3	1～4年次	注4

注1 「美術解剖学Ⅰ」「美術解剖学Ⅱ」は、美術学科彫刻専攻の学生は履修することが望ましい。

2 「デザイン概論」「工芸概論」「色彩論」「図法及び製図」は選択科目ではあるが、デザイン工芸学科の学生は履修することが望ましい。

3 美術学科彫刻専攻の学生は、この科目ではなく、専門科目の「彫刻論(古典研究を含む。)」(必修)を履修すること。

4 特別聴講学生(交換留学生)対象科目です。

芸術学部 美術学科 日本画専攻

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	工芸制作A (演習)		2		2年・前期	
専門科目	日本画実習ⅠA	4			1年・前期	
	日本画実習ⅠB	4			1年・後期	
	材料実習Ⅰ	2			1年・前期	
	デッサン実習Ⅰ	2			1年・後期	
	構成演習Ⅰ (平面)	2			1年・後期	
	日本画実習ⅡA	6			2年・前期	
	日本画実習ⅡB	4			2年・後期	
	デッサン実習Ⅱ	2			2年・前期	
	構成演習Ⅱ (平面)	1			2年・後期	
	材料実習Ⅱ (金属材料)	2			2年・後期	
	彫塑演習	2			2年・後期	
	日本画実習ⅢA	6			3年・前期	
	日本画実習ⅢB	4			3年・後期	
	古美術研究 (演習)	6			3年次	
	デッサン実習Ⅲ	2			3年・後期	
	材料実習Ⅲ	2			3年・前期	
	構成実習 (平面)	2			3年・後期	
	日本画実習Ⅳ	10			4年次	
	絵画論演習	2			4年・後期	
	技法演習 (裏打技法)	2			4年・前期	
卒業制作 (演習)	9			4年・後期		

注 卒業制作着手要件

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、美術学科においては、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 次に掲げる条件を満たす者

3年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、90単位以上を修得していること

(2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

芸術学部 美術学科 油絵専攻

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	工芸制作A（演習）		2		2年・前期	
専門科目	油絵基礎演習	2			1年・前期	
	デッサン実習Ⅰ	4			1年・前期	
	構成演習Ⅰ	2			1年・前期	
	油絵実習Ⅰ	4			1年・後期	
	彫塑演習	2			1年・後期	
	版画制作実習Ⅰ	2			1年・後期	
	油絵実習ⅡA	5			2年・前期	
	版画制作実習Ⅱ	3			2年・前期	
	学外演習	2			2年・後期	
	油絵実習ⅡB	2			2年・後期	
	デッサン実習Ⅱ	2			2年・後期	
	構成演習Ⅱ	2			2年・後期	
	油絵材料・技法演習（古典技法）	2			2年・後期	
	古美術研究（演習）	6			3年次	
	構成演習Ⅲ	2			3年・前期	
	油絵実習ⅢA	6			3年・前期	
	デッサン実習Ⅲ	2			3年・後期	
	油絵実習ⅢB	6			3年・後期	
	油絵実習ⅣA	6			4年・前期	
	卒業制作A（演習）	4			4年・前期	
油絵実習ⅣB	6			4年・後期		
卒業制作B（演習）	4			4年・後期		

注 卒業制作着手要件

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」とは、美術学科においては、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 次に掲げる条件を満たす者
卒業の要件となる128単位のうち、90単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

芸術学部 美術学科 彫刻専攻

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	工芸制作A（演習）		2		2年・前期	
専門科目	彫刻実習Ⅰ	8			1年次	
	デッサン実習Ⅰ	2			1年次	
	構成演習Ⅰ	2			1年・前期	
	実材制作基礎演習 （工芸制作を含む。）	4			1年・後期	
	彫刻実習ⅡA	6			2年・前期	
	彫刻実習ⅡB	4			2年・後期	
	デッサン実習Ⅱ	2			2年・後期	
	実材制作実習Ⅰ	2			2年・前期	
	構成実習Ⅱ（平面・立体）	2			2年・後期	
	彫刻実習ⅢA	6			3年・前期	
	彫刻実習ⅢB	4			3年・後期	
	古美術研究（演習）	6			3年次	
	実材制作実習Ⅱ	2			3年・後期	
	彫刻論（古典研究を含む。）	2			3年・前期	
	構成実習Ⅲ（立体）	2			3年・後期	
	デッサン実習Ⅲ	2			3年・前期	
	彫刻実習Ⅳ	10			4年次	
卒業制作	10			4年次		

注 卒業制作着手要件

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、美術学科においては、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 次に掲げる条件を満たす者
卒業の要件となる128単位のうち、90単位以上を修得していること
- (2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

芸術学部 デザイン工芸学科

科目区分	授業科目名	単位数			開設年次 及び学期	備考
		必修	選択	自由		
専門基礎科目	工芸制作 B (演習)		2		2年・前期	
専門科目	造形実習 I A	4			1年・前期	
	描出演習 I	2			1年・後期	
	造形実習 I B	4			1年・後期	
	形体演習 I	2			1年・前期	
	総合表現研究 (演習)	2			2年次	
	造形実習 II A	6			2年・前期	
	形体演習 II	2			2年・前期	
	造形実習 II B	6			2年・後期	
	描出演習 II	2			2年・後期	
	古美術研究 (演習)	4			3年次	
	テーマ研究 (演習)	6			3年次	
	造形実習 III A	6			3年・前期	
	造形実習 III B	6			3年・後期	
	造形研究 (演習)	12			4年・前期	
	卒業制作 (演習)	12			4年・後期	

注 卒業制作着手要件

広島市立大学履修規程第8条に規定する「学長が別に定める要件を満たす」者とは、デザイン工芸学科においては、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 次に掲げる条件を満たす者

3年次末において、卒業の要件となる128単位のうち、90単位以上を修得していること

(2) 学科の推薦を受け、教授会で認められた者

教育職員免許状受領資格取得関係科目表

教育職員免許状を取得するためには、以下に記載する「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「大学が独自に設定する科目」から **合計59単位以上** 修得するとともに、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」を修得する必要があります。(中学校教諭一種免許状にあつては、「介護等体験」も必要です。)[56ページ参照]

1. 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 国際学部 国際学科

免許種：中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目名	単位数			
教科に関する専門的事項	英 語 学	中一種免 28単位 高一種免 24単位	英語学概論Ⅰ	2	○	○	※中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示。 ※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。(卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表(7ページから39ページ)を参照すること。) ※最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。
			英語学概論Ⅱ	2	○	○	
	英 語 文 学		英文法論	2	●	●	
			英米文学概論Ⅰ	2	○	○	
	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン		英米文学概論Ⅱ	2	○	○	
			Special Lecture in British and American LiteratureⅠ	2	●	●	
			Special Lecture in British and American LiteratureⅡ	2	●	●	
			Communication in EnglishⅠ	1	○	○	
			Communication in EnglishⅡ	1	○	○	
			英語聴解法	2	●	●	
			英文構成法Ⅰ	2	●	●	
			英文構成法Ⅱ	2	●	●	
			時事英語	2	●	●	
			英語読解法Ⅰ	2	●	●	
			英語読解法Ⅱ	2	●	●	
			英文作法Ⅰ	2	●	●	
			英文作法Ⅱ	2	●	●	
			英語討論技法Ⅰ	2	●	●	
			英語討論技法Ⅱ	2	●	●	
			翻訳論Ⅰ	2	●	●	
翻訳論Ⅱ		2	●	●			
異文化理解		イギリス文化論Ⅰ	2	○	○		
	イギリス文化論Ⅱ	2	○	○			
	American CultureⅠ	2	○	○			
	American CultureⅡ	2	○	○			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	コミュニケーション技法論Ⅰ	2	●	●			
	コミュニケーション技法論Ⅱ	2	●	●			
	教科教育法(英語)AⅠ	2	○	●			
	教科教育法(英語)AⅡ	2	○	●			
	教科教育法(英語)BⅠ	2	○	○			
	教科教育法(英語)BⅡ	2	○	○			

(2) 情報科学部 情報工学科

①免許種：高等学校教諭一種免許状（数学）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	代 数 学	24単位	線形代数学Ⅰ	2	○	※免許取得における 必修科目を「○」、選 択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必 修・選択・自由の区 分については、教育 課程表（7ページから 39ページ）を参照す ること。)
			線形代数学Ⅱ	2	○	
	幾 何 学		幾何学概論	2	○	
			離散数学	2	○	
	解 析 学		解析学Ⅰ	2	○	
			解析学Ⅱ	2	○	
			常微分方程式（注1）	2	●	
	「確率論、統計学」		情報基礎数学	2	●	
			確率統計	2	○	
	コ ン ピ ュ ー タ		情報理論	2	●	
			データ構造とアルゴリズムⅠ	2	○	
			プログラミングⅠ	2	○	
			プログラミングⅠ演習	1	○	
			実社会指向基礎数学	2	●	
			コンピュータアーキテクチャ	2	●	
			コンピュータシステム	2	●	
	デジタルデザイン		2	●		
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	最適化技法	2	●			
	教科教育法（数学）Ⅰ	2	○			
	教科教育法（数学）Ⅱ	2	○			

(注1) 教職課程登録者のみ履修登録可

②免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	情報社会（職業 に関する内容を 含む）・情報倫理	24単位	情報社会論（注1）	2	○	※免許取得における 必修科目を「○」、選 択科目を「●」で表示。 （卒業要件における必 修・選択・自由の区 分については、教育 課程表（7ページから 39ページ）を参照す ること。） ※最低修得単位数を 超えて修得した単位 は、「大学が独自に設 定する科目」の単位 数に算入することが できる。
			知的財産権	2	○	
			情報と職業	2	○	
	コンピュータ・ 情 報 処 理		コンピュータ基礎	2	○	
			プログラミングⅡ	2	○	
			プログラミングⅡ 演習	1	○	
			プログラミングⅢ	2	●	
			情報科学基礎実験 a	1	○	
			情報科学基礎実験 b	1	○	
			情報科学基礎実験 c	1	○	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	●	
			情報システム開発	2	●	
			情報システム	データベース	2	
	オペレーティングシステム			2	○	
	システム開発実践			2	●	
	情報通信 ネットワーク		情報ネットワーク	2	○	
			情報セキュリティ基礎	2	●	
			デジタル信号処理	2	●	
			ネットワーク設計	2	●	
			ワイヤレスネットワーク	2	●	
ネットワークプロトコル		2	●			
マルチメディア 表現・マルチ メディア技術	コンピュータグラフィックスⅠ（注2）	2	○			
	画像情報処理（注2）	2	○			
	ネットワーク基盤技術	2	●			
	教科教育法（情報）Ⅰ	2	○			
各教科の指導法 （情報通信技術の 活用を含む。）	教科教育法（情報）Ⅱ	2	○			

(注1) 全学共通系科目

(注2) 教職課程登録者のみ履修登録可

(3) 情報科学部 知能工学科

①免許種：高等学校教諭一種免許状（数学）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	代 数 学	24単位	線形代数学Ⅰ	2	○	※免許取得における 必修科目を「○」、選 択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必 修・選択・自由の区 分については、教育 課程表（7ページから 39ページ）を参照す ること。)
			線形代数学Ⅱ	2	○	
	幾 何 学		幾何学概論	2	○	
			離散数学	2	○	
			グラフ理論	2	●	
			パターン認識	2	●	
	解 析 学		解析学Ⅰ	2	○	
			解析学Ⅱ	2	○	
			常微分方程式（注1）	2	●	
			情報基礎数学	2	●	
			数値解析	2	●	
	「確率論、統計学」		確率統計	2	○	
			情報理論	2	●	
	コ ン ピ ュ ー タ		オートマトンと形式言語	2	●	
			データ構造とアルゴリズムⅠ	2	○	
			プログラミングⅠ	2	○	
			プログラミングⅠ演習	1	○	
			実社会指向基礎数学	2	●	
			数理論理学	2	●	
計算論		2	●			
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	教科教育法（数学）Ⅰ	2	○			
	教科教育法（数学）Ⅱ	2	○			

(注1) 教職課程登録者のみ履修登録可

②免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	情報社会（職業 に関する内容を 含む）・情報倫理	24単位	情報社会論（注1）	2	○	※免許取得における 必修科目を「○」、選 択科目を「●」で表示。 （卒業要件における必 修・選択・自由の区 分については、教育 課程表（7ページから 39ページ）を参照す ること。） ※最低修得単位数を 超えて修得した単位 は、「大学が独自に設 定する科目」の単位 数に算入することが できる。
			知的財産権	2	○	
	情報と職業		2	○		
	コンピュータ・ 情 報 処 理		コンピュータ基礎	2	○	
			プログラミングⅡ	2	○	
			プログラミングⅡ演習	1	○	
			プログラミングⅢ	2	●	
			プログラミングⅢ演習	1	●	
			情報科学基礎実験 a	1	○	
			情報科学基礎実験 b	1	○	
			情報科学基礎実験 c	1	○	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	●	
			コンパイラ	2	●	
	情 報 シ ス テ ム		記号処理プログラミング	2	●	
			ソフトウェア工学概説	2	●	
			データベース	2	○	
			オペレーティングシステム	2	○	
			情報検索	2	●	
	情 報 通 信 ネ ャ ヲ ワ ー ク		人工知能	2	●	
			システム開発実践	2	●	
			情報ネットワーク	2	○	
	マルチメディア 表 現 ・ マ ル チ メ デ ィ ア 技 術		情報セキュリティ基礎	2	●	
			コンピュータグラフィックスⅠ	2	○	
画像情報処理		2	○			
デジタル信号処理		2	●			
各 教 科 の 指 導 法 (情報通信技術の 活用を含む。)	コンピュータグラフィックスⅡ	2	●			
	教科教育法（情報）Ⅰ	2	○			
	教科教育法（情報）Ⅱ	2	○			

(注1) 全学共通系科目

(4) 情報科学部 システム工学科

①免許種：高等学校教諭一種免許状（数学）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	代 数 学	24単位	線形代数学 I	2	○	※免許取得における 必修科目を「○」、選 択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必 修・選択・自由の区 分については、教育 課程表（7ページから 39ページ）を参照す ること。)
			線形代数学 II	2	○	
			情報代数学	2	●	
	幾 何 学		幾何学概論	2	○	
			離散数学	2	○	
			応用幾何学	2	●	
			パターン認識	2	●	
	解 析 学		解析学 I	2	○	
			解析学 II	2	○	
			常微分方程式	2	●	
			情報基礎数学	2	●	
			数値計算法	2	●	
	「確率論、統計学」		偏微分方程式	2	●	
			確率統計	2	○	
			情報理論	2	●	
	コンピュータ		確率過程論	2	●	
			データ構造とアルゴリズム I	2	○	
			プログラミング I	2	○	
プログラミング I 演習		1	○			
実社会指向基礎数学		2	●			
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	教科教育法（数学） I	2	○			
	教科教育法（数学） II	2	○			

②免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・選択の別	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目名	単位数			
教科に関する専門的事項	情報社会（職業に関する内容を含む）・情報倫理	24単位	情報社会論（注1）	2	○	※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。（卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表（7ページから39ページ）を参照すること。） ※最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。	
			知的財産権	2	○		
	コンピュータ・情報処理		情報と職業	2	○		
			コンピュータ基礎	2	○		
			プログラミングⅡ	2	○		
			プログラミングⅡ演習	1	○		
			プログラミングⅢ	2	●		
			プログラミングⅢ演習	1	●		
			情報科学基礎実験 a	1	○		
			情報科学基礎実験 b	1	○		
			情報科学基礎実験 c	1	○		
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	●		
			電子回路	2	●		
			離散時間システム	2	●		
			制御工学Ⅰ	2	●		
			ソフトコンピューティング	2	●		
			ソフトウェア工学概論	2	●		
			情報システム	データベース（注2）	2		○
				オペレーティングシステム	2		○
	ヒューマンインタフェースⅠ			2	●		
	システム開発実践			2	●		
情報通信ネットワーク	情報ネットワーク	2	○				
	情報セキュリティ応用	2	●				
	デジタル無線通信	2	●				
マルチメディア表現・マルチメディア技術	コンピュータグラフィックス	2	○				
	画像情報処理	2	○				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	教科教育法（情報）Ⅰ	2	○				
	教科教育法（情報）Ⅱ	2	○				

(注1) 全学共通系科目

(注2) 教職課程登録者のみ履修登録可

(5) 情報科学部 医用情報科学科
免許種：高等学校教諭一種免許状（情報）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	情報社会（職業 に関する内容を 含む）・情報倫理	24単位	情報社会論（注1）	2	○	※免許取得における 必修科目を「○」、選 択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必 修・選択・自由の区 分については、教育 課程表（7ページから 39ページ）を参照す ること。)
			知的財産権	2	○	
			情報と職業	2	○	
	コンピュータ・ 情 報 処 理		コンピュータ基礎	2	○	
			プログラミングⅡ	2	○	
			プログラミングⅡ演習	1	○	
			電気電子計測	2	●	
			情報科学基礎実験 a	1	○	
			情報科学基礎実験 b	1	○	
			情報科学基礎実験 c	1	○	
			データ構造とアルゴリズムⅡ	2	●	
	デジタル信号処理		2	●		
	情報システム		データベース（注2）	2	○	
			オペレーティングシステム（注2）	2	○	
	情報通信 ネットワーク		情報ネットワーク	2	○	
			情報セキュリティ基礎	2	●	
	マルチメディア 表現・マルチ メディア技術		ワイヤレスネットワーク（注2）	2	●	
医用画像処理		2	○			
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	教科教育法（情報）Ⅰ	2	○			
	教科教育法（情報）Ⅱ	2	○			

(注1) 全学共通系科目

(注2) 教職課程登録者のみ履修登録可

(6) 芸術学部 美術学科 日本画専攻

免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		中 一 種 免	高 一 種 免	備 考		
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数					
教科に 関する 専門的 事項	絵 画 (映像メディア 表現を含む。)	中一種免 28単位	日本画実習ⅠA	4	○	○	※中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示		
			日本画実習ⅠB	4	○	○			
			日本画実習ⅡA	6	○	○			
			日本画実習ⅡB	4	○	○			
			日本画実習ⅢA	6	○	○			
			日本画実習ⅢB	4	○	○			
			日本画実習Ⅳ	10	○	○			
			デッサン実習Ⅰ	2	○	○			
			デッサン実習Ⅱ	2	○	○			
			デッサン実習Ⅲ	2	○	○			
			材料実習Ⅰ	2	○	○			
			材料実習Ⅱ（金属材料）	2	○	○			
			材料実習Ⅲ	2	○	○			
			絵画論演習	2	○	○			
	技法演習（裏打技法）	2	○	○					
	彫 刻	中一種免 28単位	彫塑演習	2	○	○	※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表（7ページから39ページ）を参照すること。)		
			デザイン (映像メディア 表現を含む。)	高一種免 24単位	構成演習Ⅰ（平面）	2		○	○
					構成演習Ⅱ（平面）	1		○	○
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジアの 美術を含む。)	高一種免 24単位	構成実習（平面）	2	○	○			
			美学Ⅰ	2	○	○			
			美学Ⅱ	2	○	○			
			日本美術史Ⅰ	2	○	○			
			日本美術史Ⅱ	2	○	○			
東洋美術史Ⅰ			2	○	○				
東洋美術史Ⅱ			2	○	○				
西洋美術史Ⅰ			2	○	○				
西洋美術史Ⅱ			2	○	○				
美術解剖学Ⅰ			2	●	●				
美術解剖学Ⅱ	2	●	●						
工 芸	高一種免 24単位	材料技法演習（木工）	1	●	●				
		材料技法演習（塗装）	1	●	●				
		工芸制作A（演習）	2	○	○				
		教科教育法（美術）AⅠ	2	○	●				
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	高一種免 24単位	教科教育法（美術）AⅡ	2	○	●				
		教科教育法（美術）BⅠ	2	○	○				
		教科教育法（美術）BⅡ	2	○	○				
		教科教育法（美術）BⅡ	2	○	○				

(7) 芸術学部 美術学科 油絵専攻

免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数			
教科に関する専門的事項	絵 画 (映像メディア表現を含む。)	中一種免 28単位	油絵基礎演習	2	○	○	※中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示 ※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表(7ページから39ページ)を参照すること。) ※最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。
			油絵実習Ⅰ	4	○	○	
			油絵実習ⅡA	5	○	○	
			油絵実習ⅡB	2	○	○	
			油絵実習ⅢA	6	○	○	
			油絵実習ⅢB	6	○	○	
			油絵実習ⅣA	6	○	○	
			油絵実習ⅣB	6	○	○	
			デッサン実習Ⅰ	4	○	○	
			デッサン実習Ⅱ	2	○	○	
			デッサン実習Ⅲ	2	○	○	
			版画制作実習Ⅰ	2	○	○	
	版画制作実習Ⅱ	3	○	○			
	彫 刻	中一種免 28単位	彫塑演習	2	○	○	
	デ ザ イ ン (映像メディア表現を含む。)		構成演習Ⅰ	2	○	○	
			構成演習Ⅱ	2	○	○	
		構成演習Ⅲ	2	○	○		
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	高一種免 24単位	美学Ⅰ	2	○	○	
			美学Ⅱ	2	○	○	
			日本美術史Ⅰ	2	○	○	
			日本美術史Ⅱ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅰ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅱ	2	○	○	
西洋美術史Ⅰ			2	○	○		
西洋美術史Ⅱ			2	○	○		
美術解剖学Ⅰ			2	●	●		
美術解剖学Ⅱ			2	●	●		
工 芸	材料技法演習(木工)	1	●	○			
	材料技法演習(塗装)	1	●	○			
	工芸制作A(演習)	2	○	○			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		教科教育法(美術)AⅠ	2	○	●		
		教科教育法(美術)AⅡ	2	○	●		
		教科教育法(美術)BⅠ	2	○	○		
		教科教育法(美術)BⅡ	2	○	○		

(8) 芸術学部 美術学科 彫刻専攻

免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数			
教科に 関する 専門的 事項	絵 画 (映像メディア 表現を含む。)	中一種免 28単位 高一種免 24単位	デッサン実習Ⅰ	2	○	○	※中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示 ※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表(7ページから39ページ)を参照すること。) ※最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。
			デッサン実習Ⅱ	2	○	○	
			デッサン実習Ⅲ	2	○	○	
	彫 刻		彫刻実習Ⅰ	8	○	○	
			彫刻実習ⅡA	6	○	○	
			彫刻実習ⅡB	4	○	○	
			彫刻実習ⅢA	6	○	○	
			彫刻実習ⅢB	4	○	○	
			彫刻実習Ⅳ	10	○	○	
			彫刻論(古典研究を含む。)	2	○	○	
			構成演習Ⅰ	2	○	○	
	デ ザ イ ン (映像メディア 表現を含む。)		構成実習Ⅱ(平面・立体)	2	○	○	
			構成実習Ⅲ(立体)	2	○	○	
			美学Ⅰ	2	○	○	
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジア の美術を含む。)		美学Ⅱ	2	○	○	
			日本美術史Ⅰ	2	○	○	
			日本美術史Ⅱ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅰ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅱ	2	○	○	
			西洋美術史Ⅰ	2	○	○	
			西洋美術史Ⅱ	2	○	○	
美術解剖学Ⅰ		2	●	●			
美術解剖学Ⅱ	2	●	●				
工 芸	実材制作基礎演習(工芸制作を含む。)	4	○	△			
	実材制作実習Ⅰ	2	○	△			
	実材制作実習Ⅱ	2	○	△			
	材料技法演習(木工)	1	●	△			
	材料技法演習(塗装)	1	●	△			
	工芸制作A(演習)	2	●	△			
	教科教育法(美術)AⅠ	2	○	●			
	教科教育法(美術)AⅡ	2	○	●			
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	教科教育法(美術)BⅠ	2	○	○			
	教科教育法(美術)BⅡ	2	○	○			

(9) 芸術学部 デザイン工芸学科

①免許種：中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数			
教科に 関する 専門 的事項	絵 画 (映像メディア 表現を含む。)	中一種免 28単位 高一種免 24単位	描出演習Ⅰ	2	○	○	※中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示 ※免許取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必修・選択・自由の区分については、教育課程表(7ページから39ページ)を参照すること。) ※最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。
			描出演習Ⅱ	2	○	○	
	彫 刻		形体演習Ⅰ	2	○	○	
			形体演習Ⅱ	2	○	○	
	デ ザ イ ン (映像メディア 表現を含む。)		造形実習ⅠA	4	○	○	
			造形実習ⅠB	4	○	○	
			造形実習ⅢB	6	○	○	
	美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジ アの美術を含む。)		美学Ⅰ	2	○	○	
			美学Ⅱ	2	○	○	
			日本美術史Ⅰ	2	○	○	
			日本美術史Ⅱ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅰ	2	○	○	
			東洋美術史Ⅱ	2	○	○	
			西洋美術史Ⅰ	2	○	○	
			西洋美術史Ⅱ	2	○	○	
			美術解剖学Ⅰ	2	●	●	
			美術解剖学Ⅱ	2	●	●	
	工 芸		造形実習ⅡA	6	○	△	
			造形実習ⅡB	6	○	△	
			造形実習ⅢA	6	○	△	
造形研究(演習)		12	○	△			
材料技法演習(木工)		1	●	△			
材料技法演習(塗装)		1	●	△			
工芸制作B(演習)		2	●	△			
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	教科教育法(美術)AⅠ	2	○	●			
	教科教育法(美術)AⅡ	2	○	●			
	教科教育法(美術)BⅠ	2	○	○			
	教科教育法(美術)BⅡ	2	○	○			

②免許種：高等学校教諭一種免許状（工芸）

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目		必修・ 選択の 別	備 考
科目 区分	各科目に 含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数		
教科に 関する 専門的 事項	図 法・ 製 図	24単位	図法及び製図	2	○	※免許取得における 必修科目を「○」、選 択科目を「●」で表示。 (卒業要件における必 修・選択・自由の区 分については、教育 課程表（7ページから 39ページ）を参照す ること。） ※最低修得単位数を 超えて修得した単位 は、「大学が独自に設 定する科目」の単位 数に算入することが できる。
			デ ザ イ ン	造形実習ⅠA	4	
	造形実習ⅠB			4	○	
	造形実習ⅢA			6	○	
	造形実習ⅢB			6	○	
	造形実習ⅡA			6	○	
	工 芸 制 作 (プロダクト制作 を含む。)		造形実習ⅡB	6	○	
			造形研究（演習）	12	○	
			工芸制作B（演習）	2	○	
	工 芸 理 論・ デザイン理論・ 美 術 史 (鑑賞並びに日本の 伝統工芸及びアジ アの工芸を含む。)		工芸概論	2	○	
			デザイン概論	2	○	
			色彩論	2	●	
			現代美術論	2	●	
			工芸材料概説	2	●	
			日本美術史Ⅰ	2	○	
			日本美術史Ⅱ	2	○	
			東洋美術史Ⅰ	2	○	
			東洋美術史Ⅱ	2	○	
			西洋美術史Ⅰ	2	○	
	西洋美術史Ⅱ		2	○		
各 教 科 の 指 導 法 (情報通信技術の 活用を含む。)	美術解剖学Ⅰ	2	●			
	美術解剖学Ⅱ	2	●			
	教科教育法（工芸）Ⅰ	2	○			
	教科教育法（工芸）Ⅱ	2	○			

2. 教育の基礎的理解に関する科目等

全学部・全免許種共通

- ・ 中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示
- ・ 免許状取得における必修科目を「○」、選択科目を「●」で表示

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			中 一 種 免	高 一 種 免	
科目	各科目に含める必要事項	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数	開設年次 及び学期			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10単位	教育原理	2	2年・前期	○	○	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教師論	2	1年・後期	○	○	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営学	2	3年・前期	○	○	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2年・後期	○	○	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	3年・第1ターム(前期)	○	○	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	1	2年・第3ターム(後期)	○	○	
生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一種免 10単位 高一種免 8単位	道徳教育論	2	2年・後期	○	○	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間論	1	2年・第4ターム(後期)	○	○	
	特別活動の指導法		特別活動論	1	3年・第2ターム(前期)	○	○	
	教育の方法及び技術		教育方法・技術論	1	2年・第3ターム(後期)	○	○	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論	1	2年・第4ターム(後期)	○	○	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2	2年・前期	○	○	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談論	2	2年・前期	○	○	
教育実践に関する科目	教育実習	中一種免 5単位	教育実習Ⅰ	3	4年次	○	○	
		高一種免 3単位	教育実習Ⅱ	2	4年次	○	●	
	教職実践演習	2単位	教職実践演習(中等)A	2	4年・後期	○	○	
			教職実践演習(中等)B	2	4年・後期			
教職実践演習(中等)C			2	4年・後期				

※高一種免において、最低修得単位数を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入することができる。

※「教育実習」は受講要件あり(56ページ参照)。

※教職実践演習について、国際学部の学生は教職実践演習(中等)Aを、情報科学部の学生は教職実践演習(中等)Bを、芸術学部の学生は教職実践演習(中等)Cを履修すること。

3. 大学が独自に設定する科目

全学部・全免許種共通

- ・中学校教諭一種免許状を「中一種免」、高等学校教諭一種免許状を「高一種免」で表示
- ・免許状取得における選択科目を「●」で表示（必修科目なし）

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			中 一 種 免	高 一 種 免	備 考
科目区分	最低修得 単位数	授業科目名	単 位 数	開設年次 及び学期			
大学が独自に 設定する科目	中一種免 4単位	学校インターンシップ	2	2～4年次	●	●	国際学部、芸術学部のみ履修可
		教職特講	2	3年・後期	●	●	
	高一種免 12単位	道徳教育論	2	2年・後期	/	●	

※「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」において、最低修得単位数を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」に算入することができる。

4. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

全学部・全免許種共通

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する 開設授業科目の名称	単 位 数	開設年次 及び学期	備 考
科目区分	最低修得 単位数				
日本国憲法	2	法学（日本国憲法）	2	1・2年 前後期	学部により履修学期が異なる 前期：国際学部 後期：情報科学部 芸術学部
体 育	2	健康科学	2	1年・前期	左記の3科目から 2単位以上
		体育実技Ⅰ	1	1年・前期	
		体育実技Ⅱ	1	1年・後期	
外国語コミュニケーション	2	CALL英語集中Ⅰ	1	1年・前期	国際学部
		CALL英語集中Ⅱ	1	1年・後期	
		英語応用演習Ⅰ	1	1年・前期	
		英語応用演習Ⅱ	1	1年・後期	
		eラーニング英語Ⅰ	1	1年・前期	情報科学部
		eラーニング英語Ⅱ	1	1年・後期	
		eラーニング英語Ⅲ	1	2年・前期	
		eラーニング英語Ⅳ	1	2年・後期	
		英語応用演習Ⅰ	1	1年・前期	芸術学部
		英語応用演習Ⅱ	1	1年・後期	
		CALL英語集中Ⅰ	1	1年・前期	
		CALL英語集中Ⅱ	1	1年・後期	
英語応用演習Ⅰ	1	1年・前期			
英語応用演習Ⅱ	1	1年・後期			
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報活用基礎	2	1年・前期	情報活用基礎

学芸員資格取得関係科目表

博物館法に定める必修 選択の別及び科目の名称		本学が開講する 授業科目の名称	単 位 数	開設年次 及び学期	備 考
必修科目 (注1)	生涯学習概論	生涯学習概論	2	1年・後期	3年次末までに単位修得のこと
	博物館教育論	博物館教育論	2	2年・前期	
	博物館資料論	博物館資料論	2	2年・後期	
	博物館概論	博物館概論	2	3年・前期	3年次末までに全て受講し、6単位以上修得すること (ただし成績評価が欠席を原因とした「不可」の場合は、受講したと見なされません。)
	博物館経営論	博物館経営論	2	3年・後期	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	3年・後期	
	博物館展示論	博物館展示論	2	3年・後期	
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	3年・後期	
博物館実習	博物館実習 (注3)	3	4年次	上記の条件をすべて満たして履修すること	
選択科目A (注2)	日本美術史Ⅰ	日本美術史Ⅰ	2	3年・前期	最低修得単位数 8 単位
	日本美術史Ⅱ	日本美術史Ⅱ	2	3年・後期	
	東洋美術史Ⅰ	東洋美術史Ⅰ	2	3年・前期	
	東洋美術史Ⅱ	東洋美術史Ⅱ	2	3年・後期	
	西洋美術史Ⅰ	西洋美術史Ⅰ	2	2年・前期	
	西洋美術史Ⅱ	西洋美術史Ⅱ	2	2年・後期	
選択科目B (注2)	コンピュータ・アート	コンピュータ・アート	2	2年・後期	最低修得単位数 2 単位
	工芸概論	工芸概論	2	1年・前期	
	現代美術論	現代美術論	2	3年・後期	
	工芸材料概説	工芸材料概説	2	2年・前期	

(注1) 必修科目を、国際学部の学生が履修するためには、「他学部履修」の手続きを行う必要があります。

ただし、「生涯学習概論」については、国際学部の学生は学部専門科目（公共政策・NPOプログラム）の選択科目として履修してください。

(注2) 選択科目の内、「コンピュータ・アート」以外は芸術学部の専門教育科目であるため、国際学部の学生が履修するためには、「他学部履修」の手続きを行う必要があります。

(注3) 4年次における「博物館実習」は、学芸員養成課程の最終段階における科目であり、関係科目で学んだ知識・技術や理論を活かして学修するものです。

したがって、「博物館実習」を履修するためには、3年次末までに上表「必修科目」の「備考」欄に記載した条件を、いずれも満たす必要があります。

資格

教員を目指す人

教育職員免許状の取得を希望する人は、本学を卒業するために必要な単位を修得し、かつ、教育職員免許法の定めるところにより所定の単位を修得する必要があります。また、教職課程を履修するためには、履修登録の際に毎回教職課程登録をしなければなりません。

1 免許状の種類

本学で取得できる免許状の種類は、次のとおりです。

学部	学科	免許状の種類
国際学部	国際学科	中学校教諭 一種免許状（英語） 高等学校教諭 一種免許状（英語）
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科	高等学校教諭 一種免許状（数学） 高等学校教諭 一種免許状（情報）
	医用情報科学科	高等学校教諭 一種免許状（情報）
芸術学部	美術学科 日本画専攻 油絵専攻 彫刻専攻	中学校教諭 一種免許状（美術） 高等学校教諭 一種免許状（美術）
	デザイン工芸学科	中学校教諭 一種免許状（美術） 高等学校教諭 一種免許状（美術） 高等学校教諭 一種免許状（工芸）

2 履修科目

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「大学が独自に設定する科目」から合計59単位以上修得するとともに、「教職免許法施行規則第66条の6に定める科目」から所定の単位を修得する必要があります。

詳細については2年次にガイダンス等で説明があります。

科目区分 【参照ページ】	中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
①教科及び教科の指導法に関する科目 【40～52ページ】	28単位以上	24単位以上
②教育の基礎的理解に関する科目等 【53ページ】	27単位以上	23単位以上
③大学が独自に設定する科目（注） 【54ページ】	4単位以上	12単位以上
④教職免許法施行規則第66条の6に定める科目 【54ページ】	法学（日本国憲法） 2単位ほか	
⑤介護等体験 （7日間）	必要	不要

（注）①、②で最低必要単位数を超過して修得した単位は、③の大学が独自に設定する科目の単位数に算入することができます。

3 教育実習受講条件

4年次に教育実習を受講するためには、3年次末までに以下の条件を満たす必要があります。

科目区分	中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
教科及び教科の指導法に関する科目	実習教科の「教科教育法」を含む18単位以上修得	実習教科の「教科教育法」を含む20単位以上修得
教育の基礎的理解に関する科目等	「教師論」、「教育原理」を含む12単位以上修得	「教師論」、「教育原理」を含む10単位以上修得

4 今後のスケジュール

時期（年次）	行事	内容
1年次(2024年)以降毎年度前期及び後期	教職課程登録	・履修登録期限までに登録
2025年度後期(2年次)	履修カルテガイダンス	・履修カルテの説明・受取 ※3年次、4年次にも教職科目講義中に適宜ガイダンスが行われる
2026年1月～2月(2年次)	介護等体験学内事前指導 教育実習事前指導①	・介護等体験申込 ・外部講師による講演 ・教育実習の内諾申込の方法説明
2026年4月(3年次)	介護等体験ガイダンス	・申込書、学生個人票の記入 ・体験費用の納入
2026年5月(3年次)	介護等体験合同事前指導	・広島地区大学合同事前指導
2026年7月～8月(3年次)	介護等体験直前指導	・外部講師による講演
2026年5月～8月末(3年次)	教育実習校へ内諾申込	・各自母校を訪問し、教育実習申込
2026年6月～2027年1月(3年次)	介護等体験	・特別支援学校（2日間）及び社会福祉施設（5日間）での介護等体験
2027年4月(4年次)	教育実習事前指導②	・教育実習簿の受取 ・教育実習費の納入
2027年5月～(4年次)	教育実習	・2週間又は3週間の教育実習
2027年10月(4年次)	教員免許状申請説明会	・申請方法の説明
	教育実習事後指導	

学芸員を目指す人

本学を卒業するために必要な単位を修得し、かつ、博物館法に定めるところにより所定の単位を修得すれば、学芸員として、美術館等へ採用される資格を取得できます。

学芸員資格取得関係科目については、55ページを参照してください。

○ 博物館実習受講条件

4年次における「博物館実習」は、学芸員養成課程の最終段階における科目であり、関係科目で学んだ知識・技術や理論を活かして学修するものです。

したがって、「博物館実習」を履修するためには、3年次末までに次の1、2の条件をいずれも満たす必要があります。

(【 】は標準の履修時期です。)

1 下記の必修3科目について、全て単位修得していること。

「生涯学習概論」 2単位【1年後期】

「博物館教育論」 2単位【2年前期】

「博物館資料論」 2単位【2年後期】

2 下記の必修5科目について、全て受講し、6単位以上修得していること。(ただし成績評価が欠席を原因とした「不可」の場合は、受講したと見なされません。)

「博物館概論」 2単位【3年前期】

「博物館展示論」 2単位【3年後期】

「博物館経営論」 2単位【3年後期】

「博物館資料保存論」 2単位【3年後期】

「博物館情報・メディア論」 2単位【3年後期】

公務員を目指す人

公務員を目指す人には、毎年夏季休業期間中(9月下旬)に専門教科を中心とした公務員試験対策セミナーを開催しています。

これは公務員試験科目についての講義を5日間集中して実施するものです。



3つのひかり 未来をつくる

広島市立大学
Hiroshima City University